

11. 大田区の観光

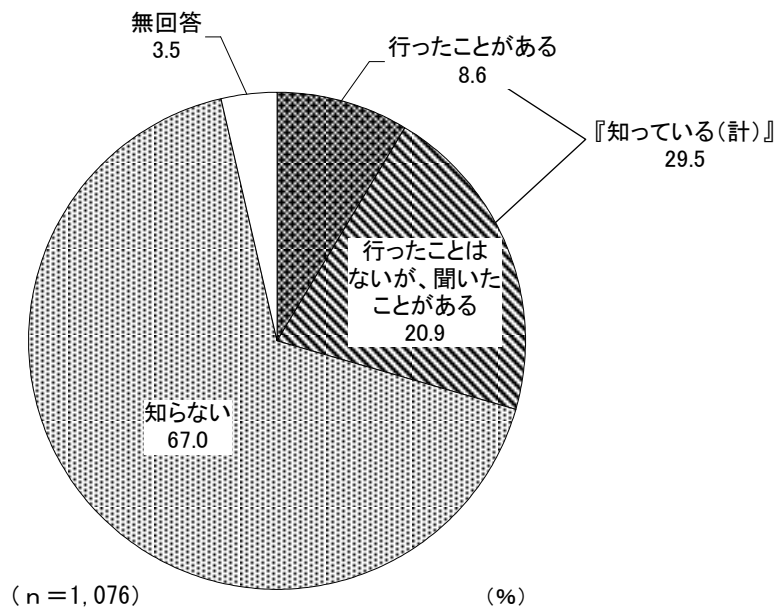
(1) 「大田区観光情報センター」の認知度

◇「行ったことがある」と「行ったことはないが、聞いたことがある」を合わせた『知っている(計)』は3割

問17 「大田区観光情報センター」をご存知ですか。(○は1つだけ)

※大田区観光情報センターは、平成27年12月に、京急蒲田駅直結の施設にオープン。英語・中国語に対応できるスタッフがおり、区内・近隣観光地の観光案内のほか、区内の工芸品・地元で評判のスイーツ等の販売、日本の伝統文化体験講座などを実施しています。

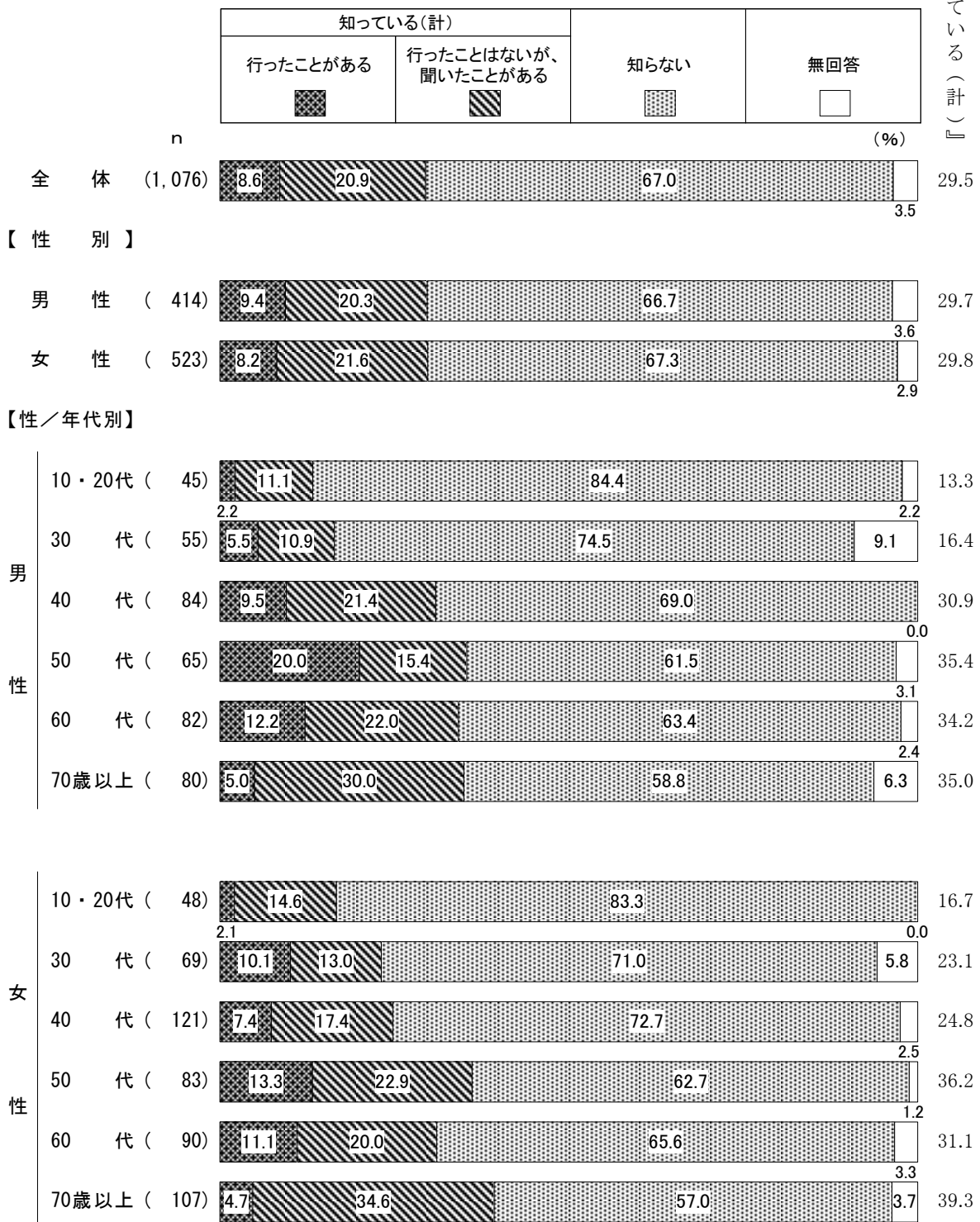
図11-1-1



「大田区観光情報センター」を知っているか聞いたところ、「行ったことがある」(8.6%)と「行ったことはないが、聞いたことがある」(20.9%)を合わせた『知っている(計)』(29.5%)は3割となっている。一方、「知らない」(67.0%)は7割近くとなっている。(図11-1-1)

図11-1-2 「大田区観光情報センター」の認知度－性／年代別

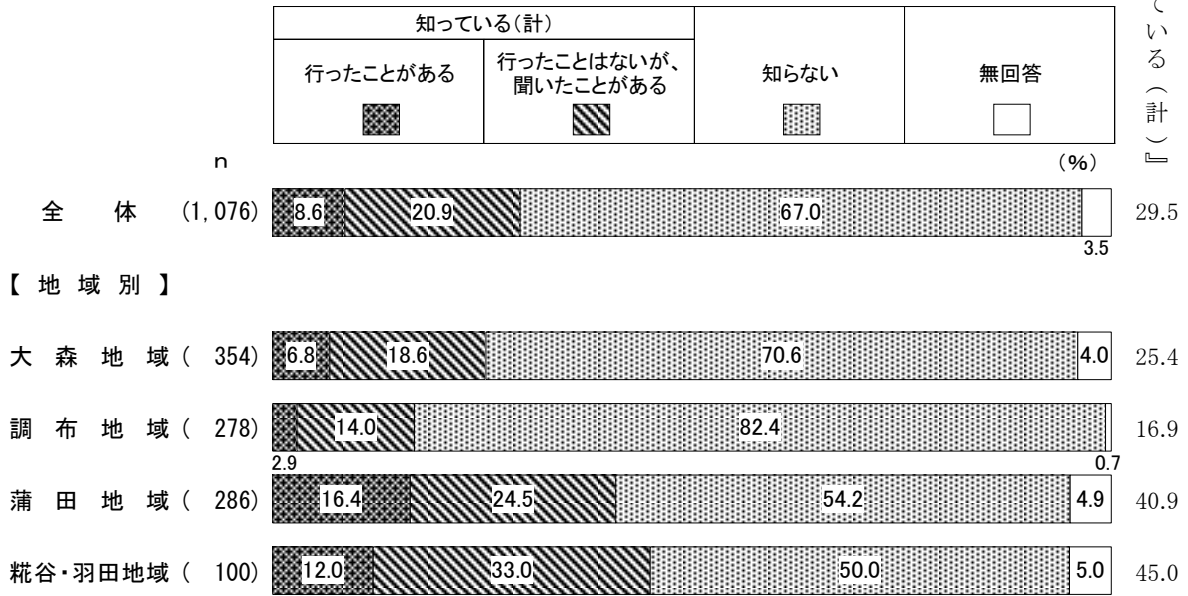
『知っている(計)』



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年代別でみると、『知っている(計)』は女性70歳以上(39.3%)で約4割と高くなっている。一方、「知らない」は男性10・20代(84.4%)と女性10・20代(83.3%)で8割台と高くなっている。(図11-1-2)

図11-1-3 「大田区観光情報センター」の認知度—地域別



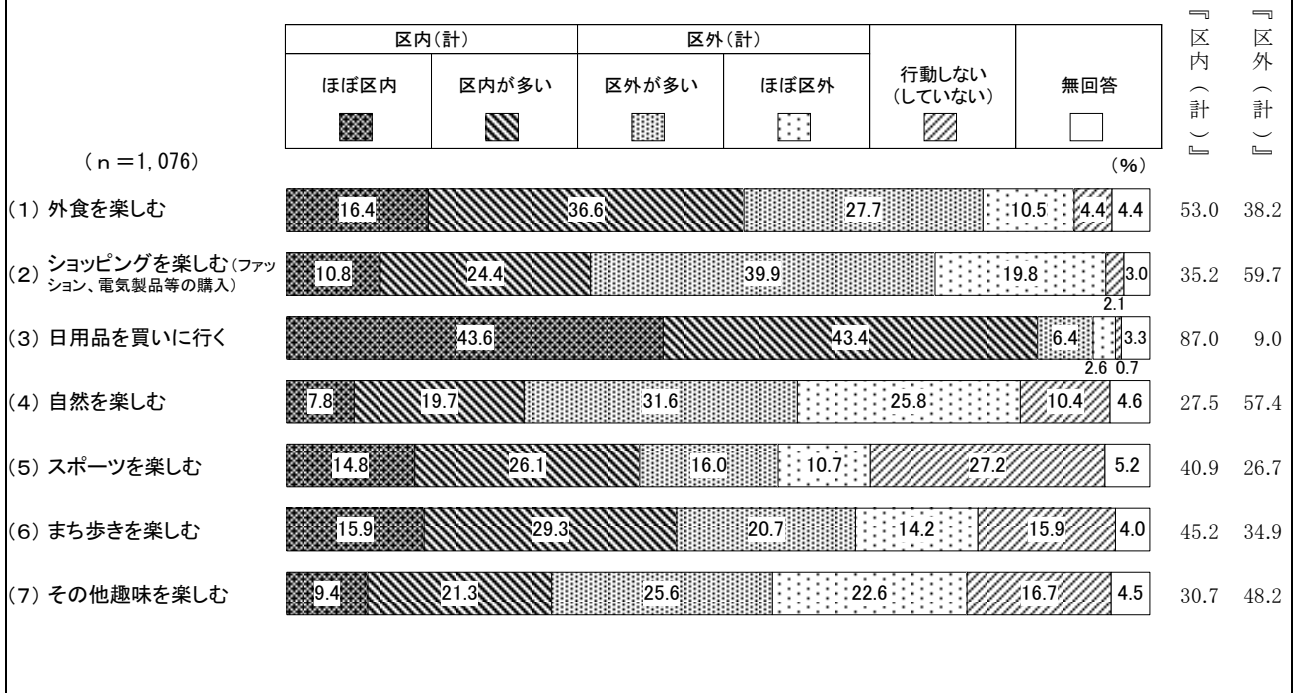
地域別でみると、『知っている(計)』は糀谷・羽田地域(45.0%)と蒲田地域(40.9%)で4割台と高くなっている。一方、「知らない」は調布地域(82.4%)で8割を超え、大森地域(70.6%)で約7割と高くなっている。(図11-1-3)

(2) 区内での過ごし方

◇「ほぼ区内」と「区内が多い」を合わせた『区内(計)』は“日用品を買いに行く”で9割近く
 「区外が多い」と「ほぼ区外」を合わせた『区外(計)』は“ショッピングを楽しむ”で6割

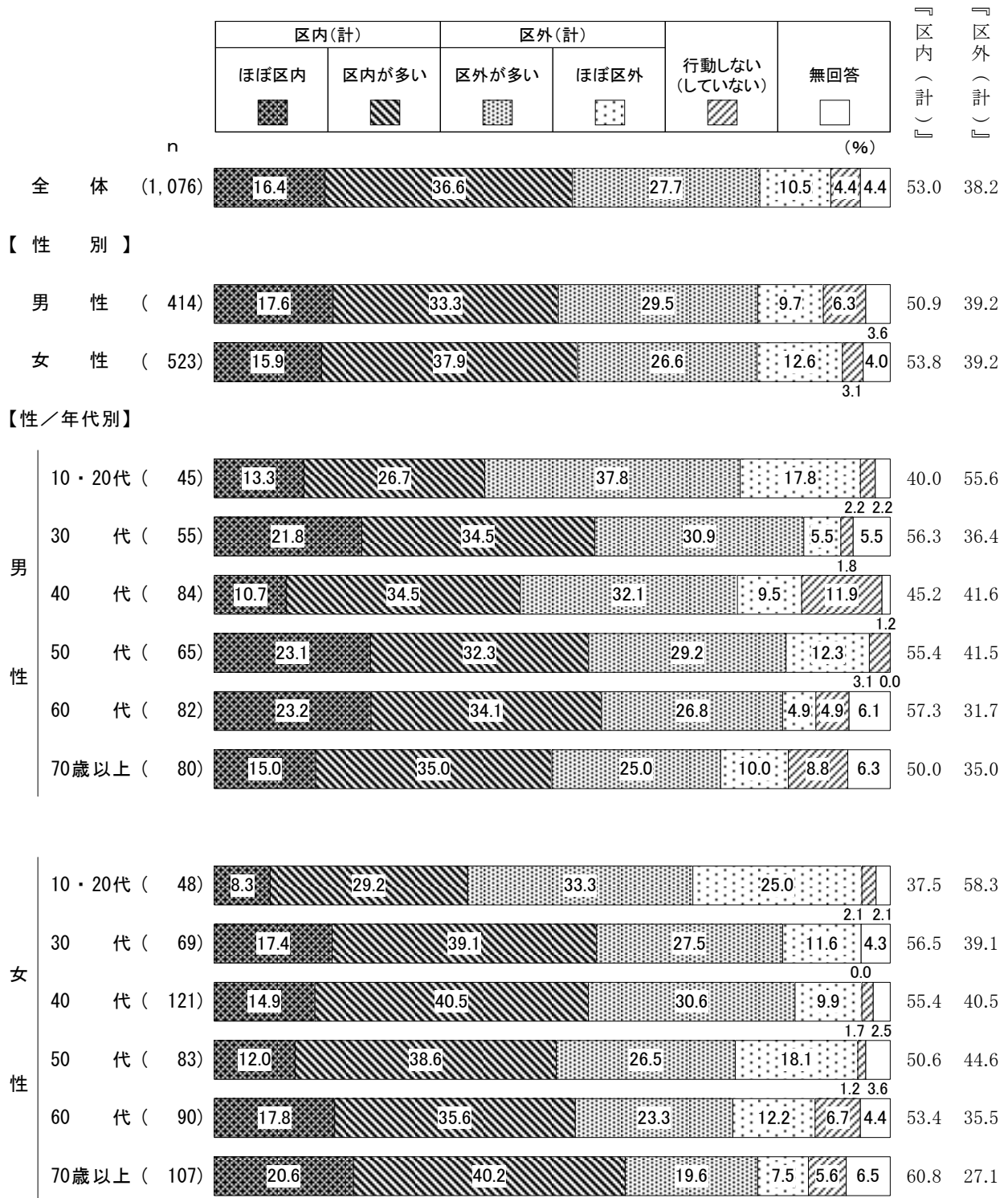
問18 あなたは、以下のような行動をするときに、区内で行動しますか。最も近いものをお答えください。(○はそれぞれ1つ)

図11-2-1



区内での過ごし方を聞いたところ、「ほぼ区内」と「区内が多い」を合わせた『区内(計)』は“日用品を買いに行く”(87.0%)で9割近く、“外食を楽しむ”(53.0%)で5割を超えて高くなっている。一方、「区外が多い」と「ほぼ区外」を合わせた『区外(計)』は“ショッピングを楽しむ(ファッション、電気製品等の購入)”(59.7%)で6割、“自然を楽しむ”(57.4%)で6割近くとなっている。(図11-2-1)

図11-2-2 区内での過ごし方—性／年代別【(1) 外食を楽しむ】

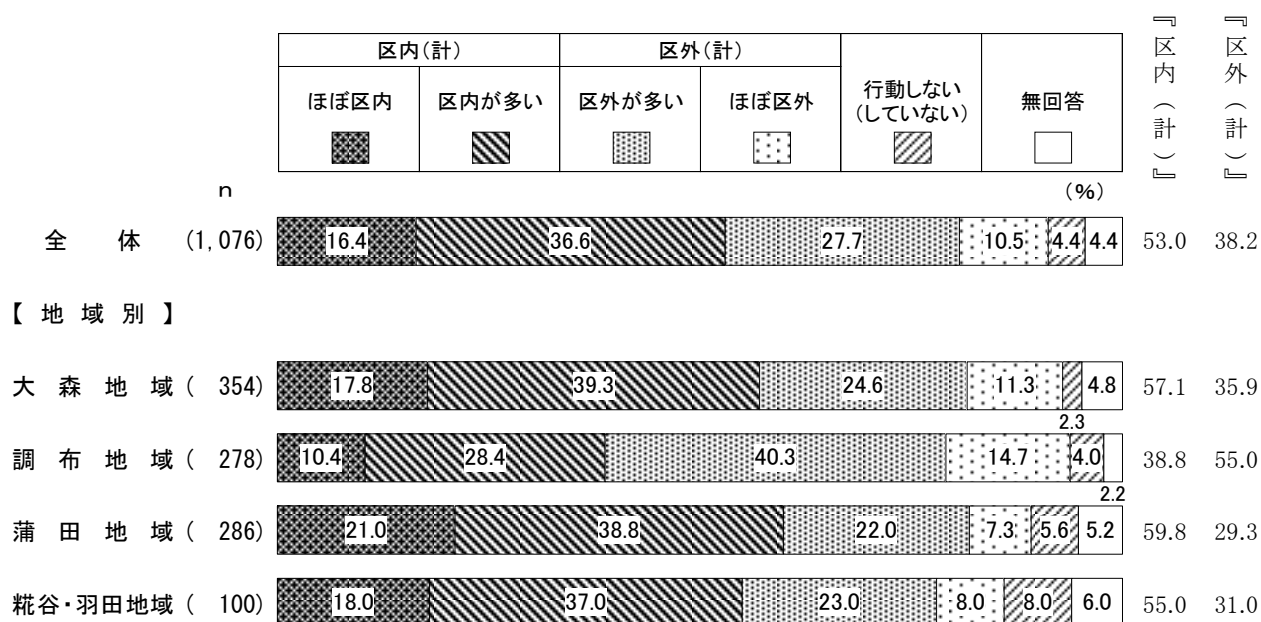


“外食を楽しむ”を性別で見ると、『区内(計)』は女性(53.8%)が男性(50.9%)より2.9ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『区内(計)』は女性70歳以上(60.8%)で約6割と高くなっている。一方、『区外(計)』は女性10・20代(58.3%)と男性10・20代(55.6%)で5割台と高くなっている。

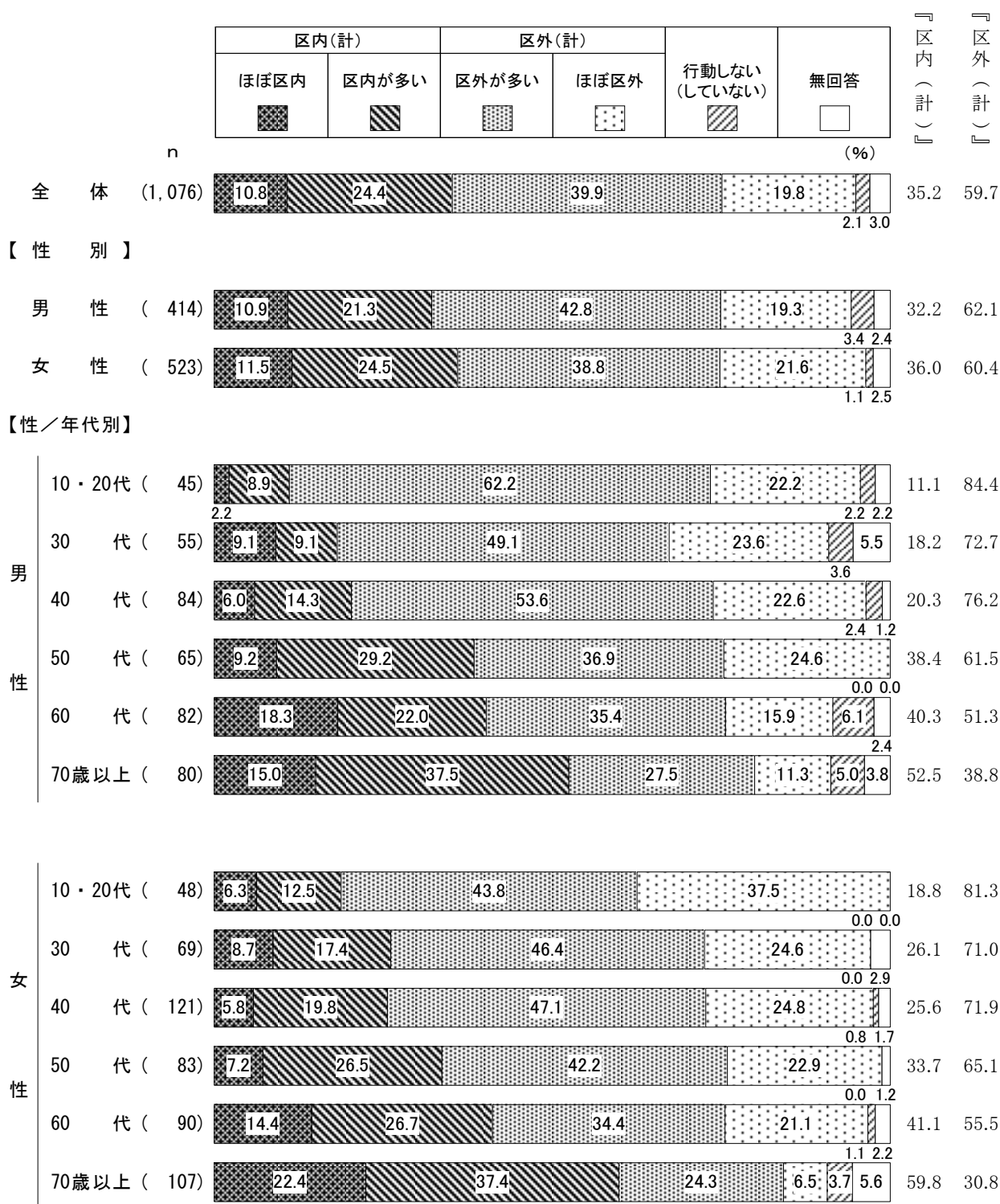
(図11-2-2)

図11-2-3 区内での過ごし方—地域別【(1) 外食を楽しむ】



“外食を楽しむ”を地域別で見ると、『区内(計)』は蒲田地域(59.8%)で6割と高くなっている。一方、『区外(計)』は調布地域(55.0%)で5割半ばと高くなっている。(図11-2-3)

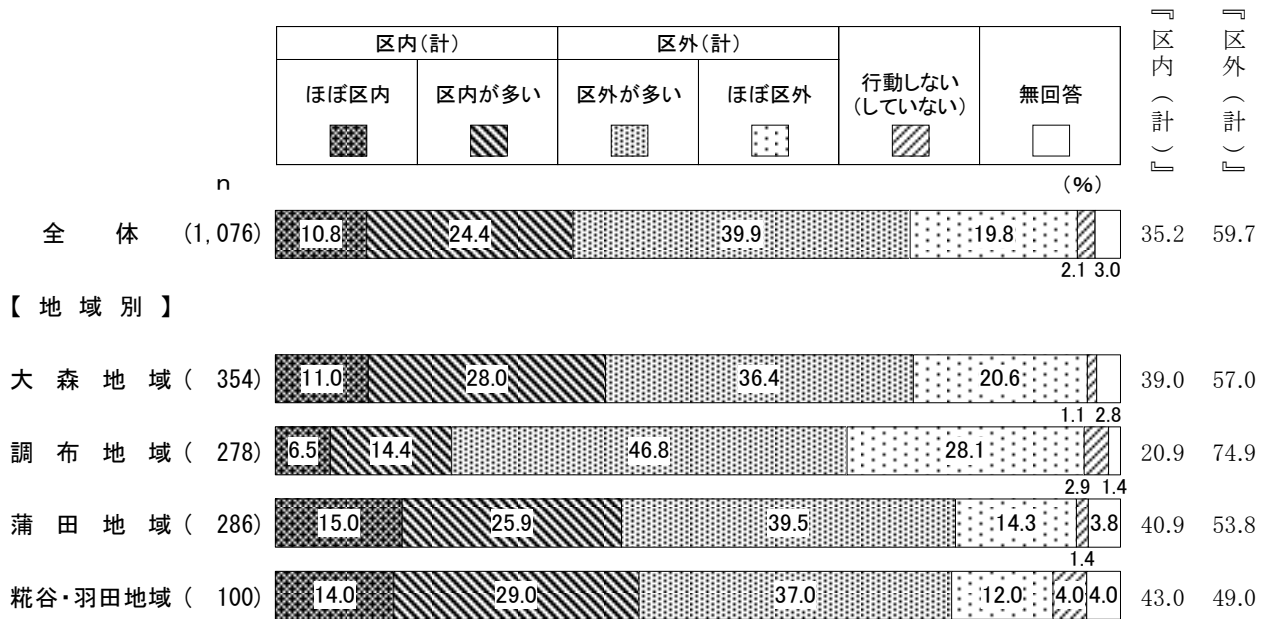
図11-2-4 区内での過ごし方—性/年代別【(2) ショッピングを楽しむ】



“ショッピングを楽しむ”を性別でみると、『区内(計)』は女性(36.0%)が男性(32.2%)より3.8ポイント高くなっている。

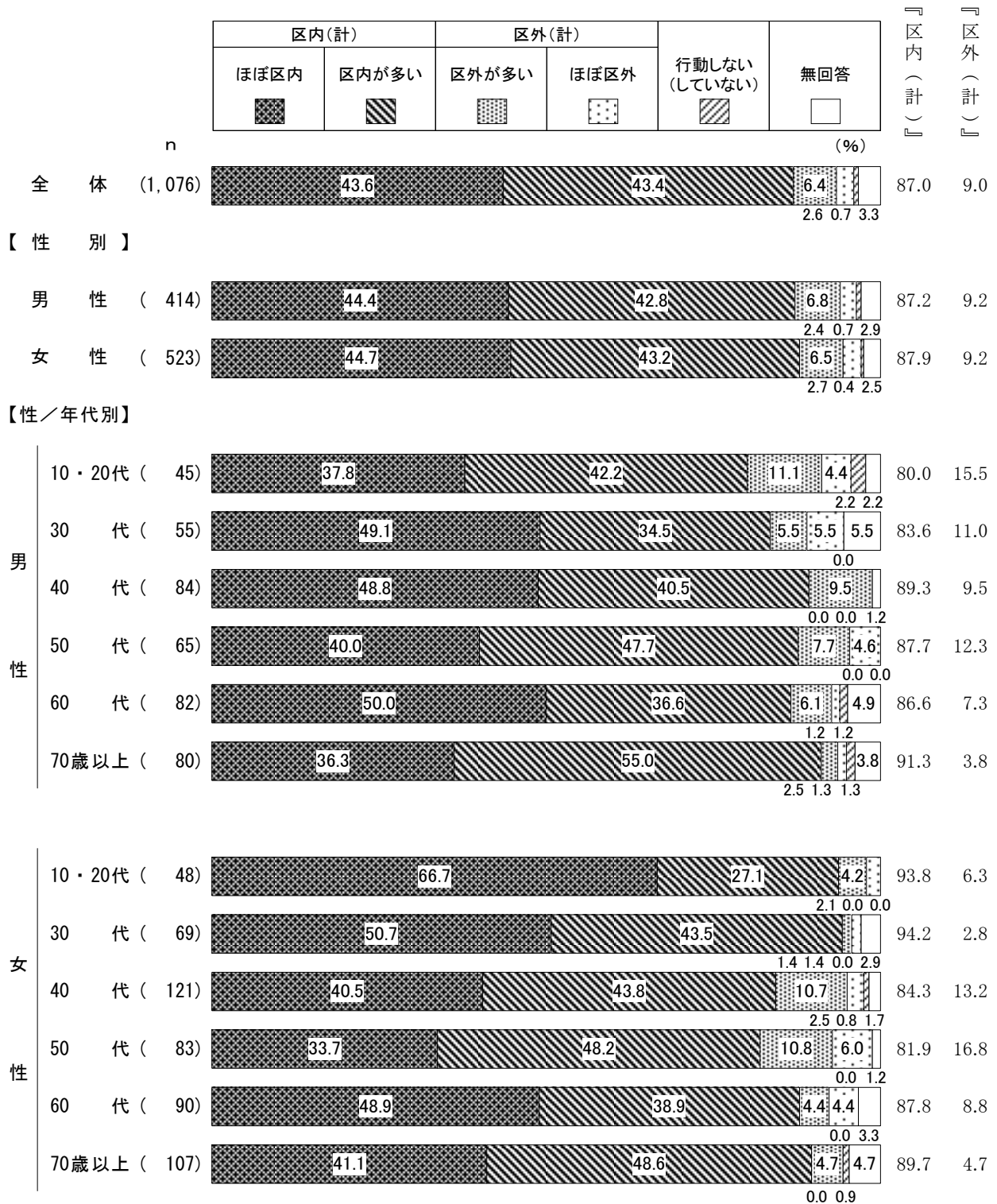
性/年代別でみると、『区内(計)』は男女ともにおおむね年代が高くなるほど割合が高く、女性70歳以上(59.8%)と男性70歳以上(52.5%)で5割台となっている。一方、『区外(計)』は男性10・20代(84.4%)と女性10・20代(81.3%)で8割台と高くなっている。(図11-2-4)

図11-2-5 区内での過ごし方—地域別【(2) ショッピングを楽しむ】



“ショッピングを楽しむ”を地域別でみると、『区内(計)』は糀谷・羽田地域(43.0%)と蒲田地域(40.9%)で4割台と高くなっている。一方、『区外(計)』は調布地域(74.9%)で7割半ばと高くなっている。(図11-2-5)

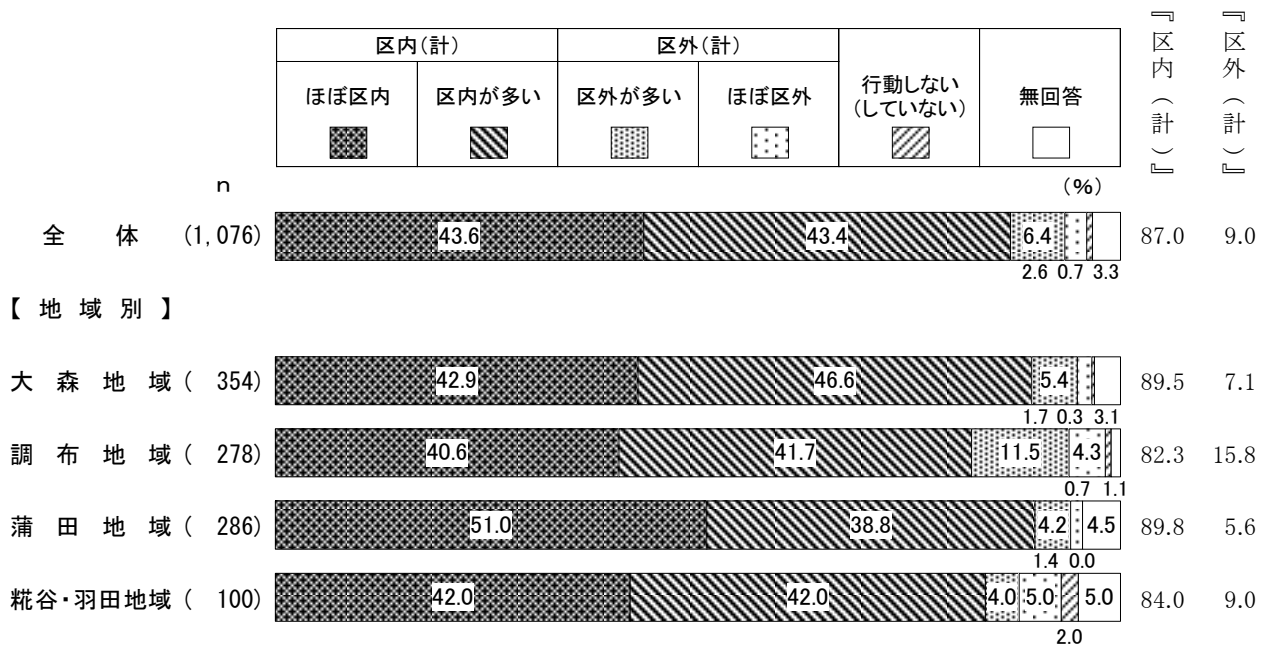
図11-2-6 区内での過ごし方－性／年代別【(3) 日用品を買いに行く】



“日用品を買いに行く”を性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年代別でみると、『区内(計)』は女性の10・20代(93.8%)と30代(94.2%)、男性70歳以上(91.3%)で9割台と高くなっている。一方、『区外(計)』は女性50代(16.8%)で2割近くとなっている。(図11-2-6)

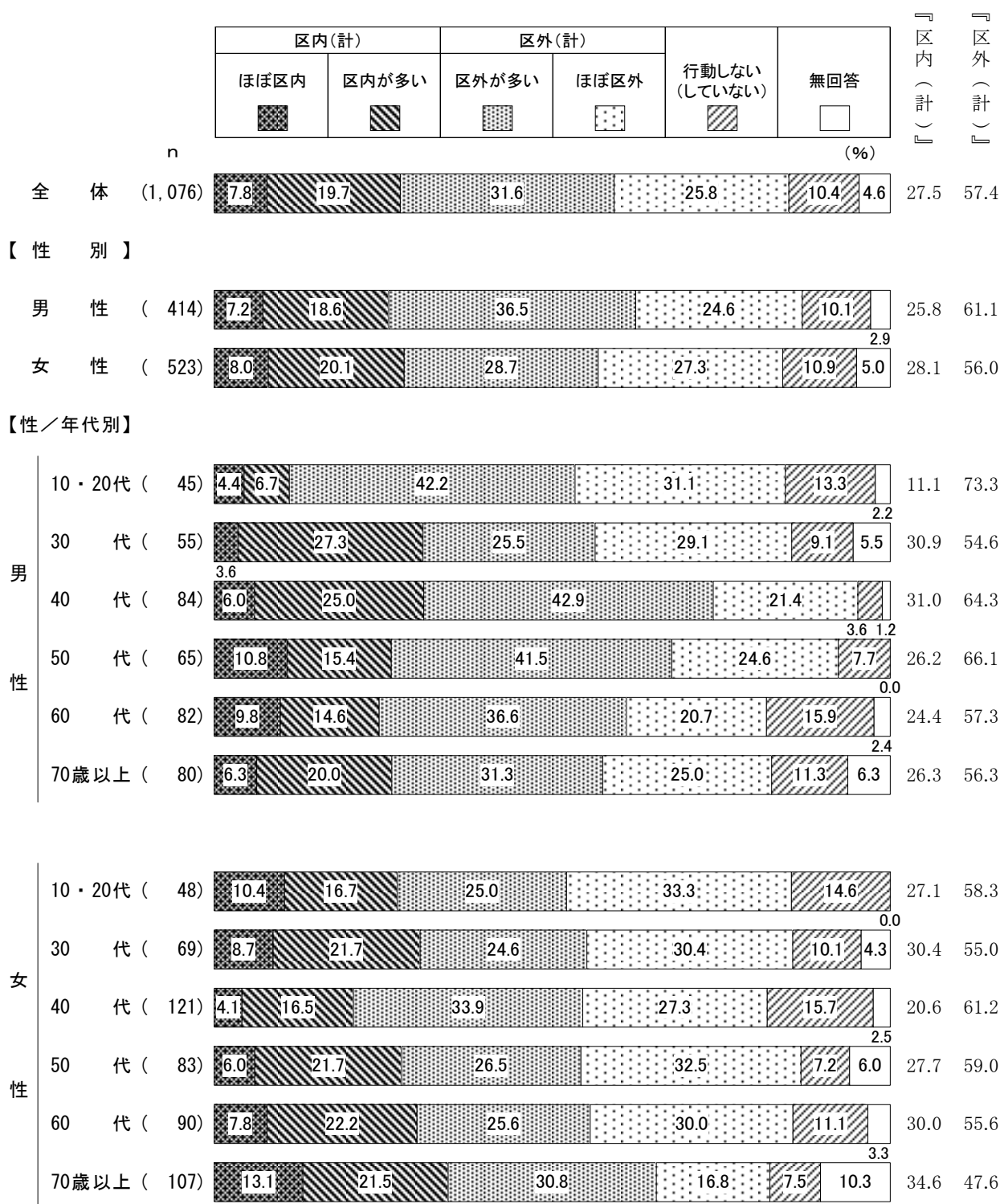
図11-2-7 区内での過ごし方—地域別【(3) 日用品を買いに行く】



“日用品を買いに行く”を地域別で見ると、『区内(計)』は蒲田地域(89.8%)と大森地域(89.5%)で9割と高くなっている。一方、『区外(計)』は調布地域(15.8%)で1割半ばとなっている。

(図11-2-7)

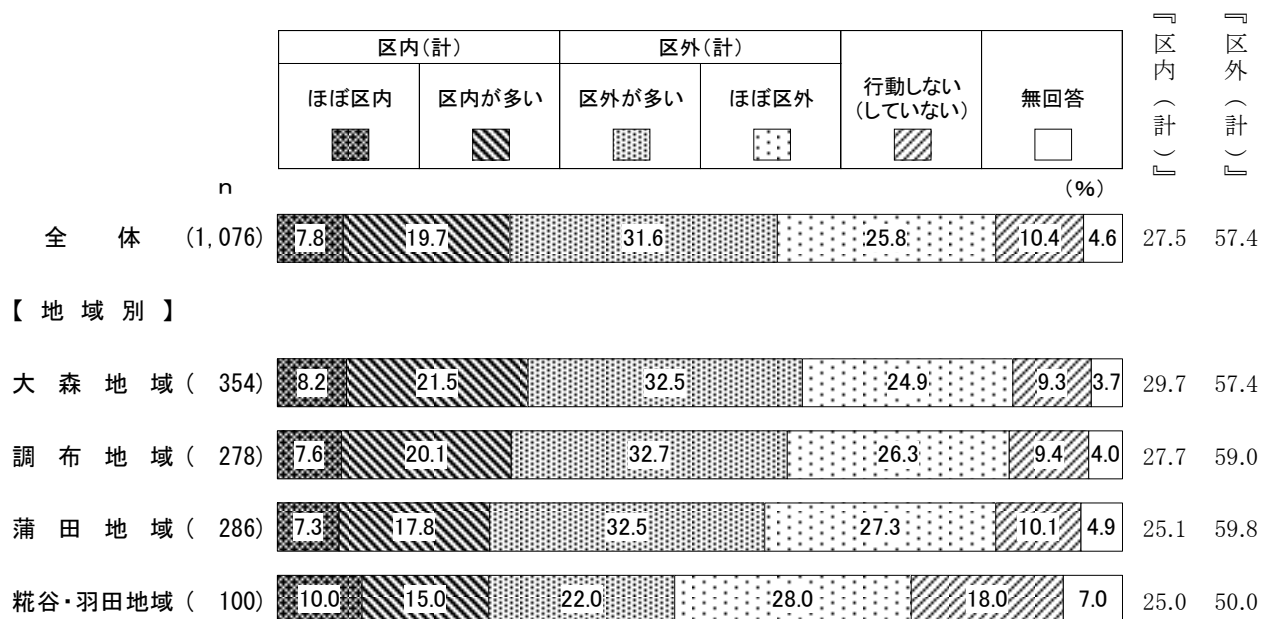
図11-2-8 区内での過ごし方—性／年代別【(4) 自然を楽しむ】



“自然を楽しむ”を性別で見ると、『区外(計)』は男性(61.1%)が女性(56.0%)より5.1ポイント高くなっている。

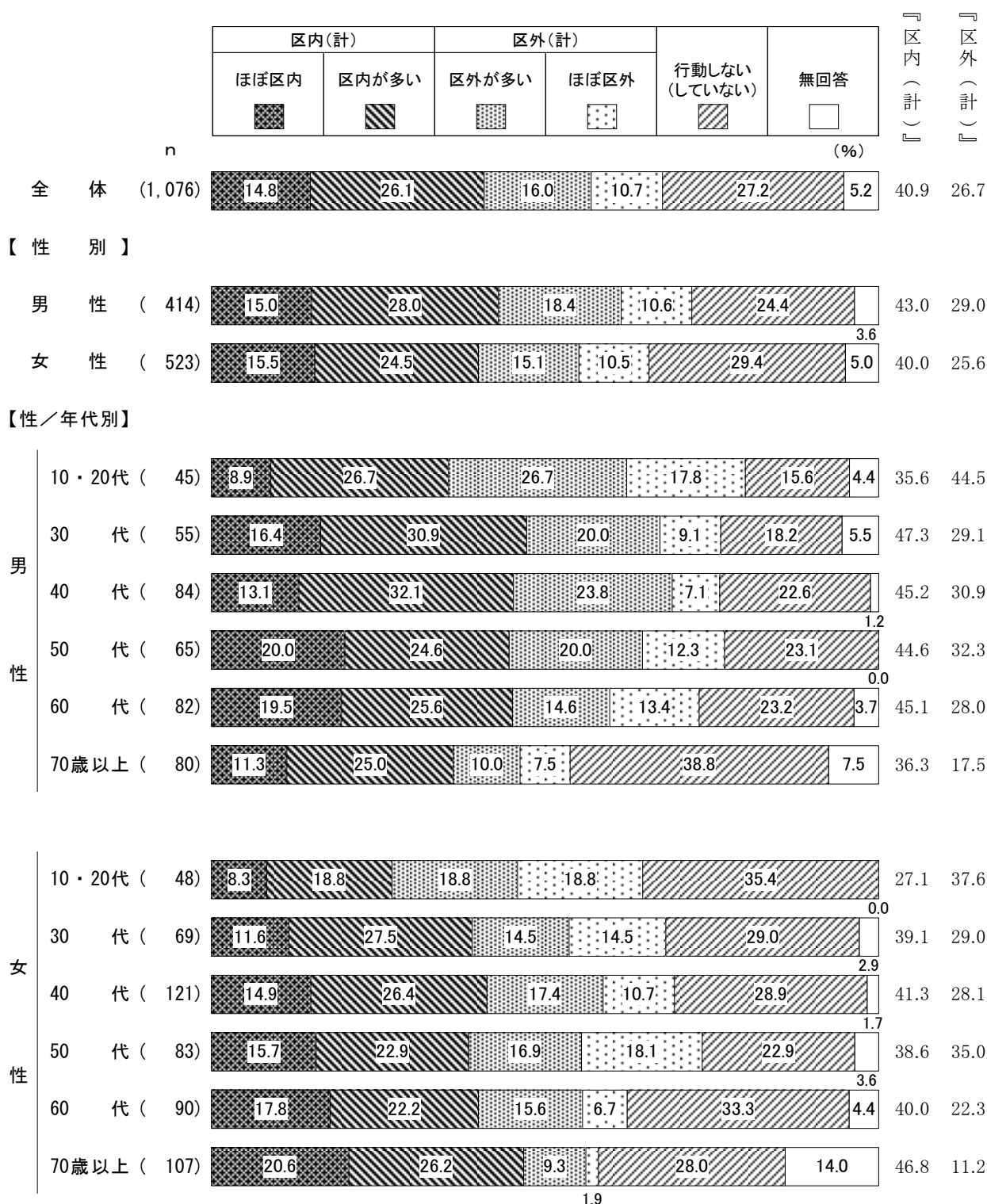
性／年代別で見ると、『区内(計)』は女性70歳以上(34.6%)で3割半ばと高くなっている。一方、『区外(計)』は男性10・20代(73.3%)で7割を超えて高くなっている。(図11-2-8)

図11-2-9 区内での過ごし方—地域別【(4) 自然を楽しむ】



“自然を楽しむ”を地域別でみると、『区内(計)』は大森地域(29.7%)で3割と高くなっている。一方、『区外(計)』は蒲田地域(59.8%)と調布地域(59.0%)で約6割と高くなっている。
(図11-2-9)

図11-2-10 区内での過ごし方—性／年代別【(5) スポーツを楽しむ】

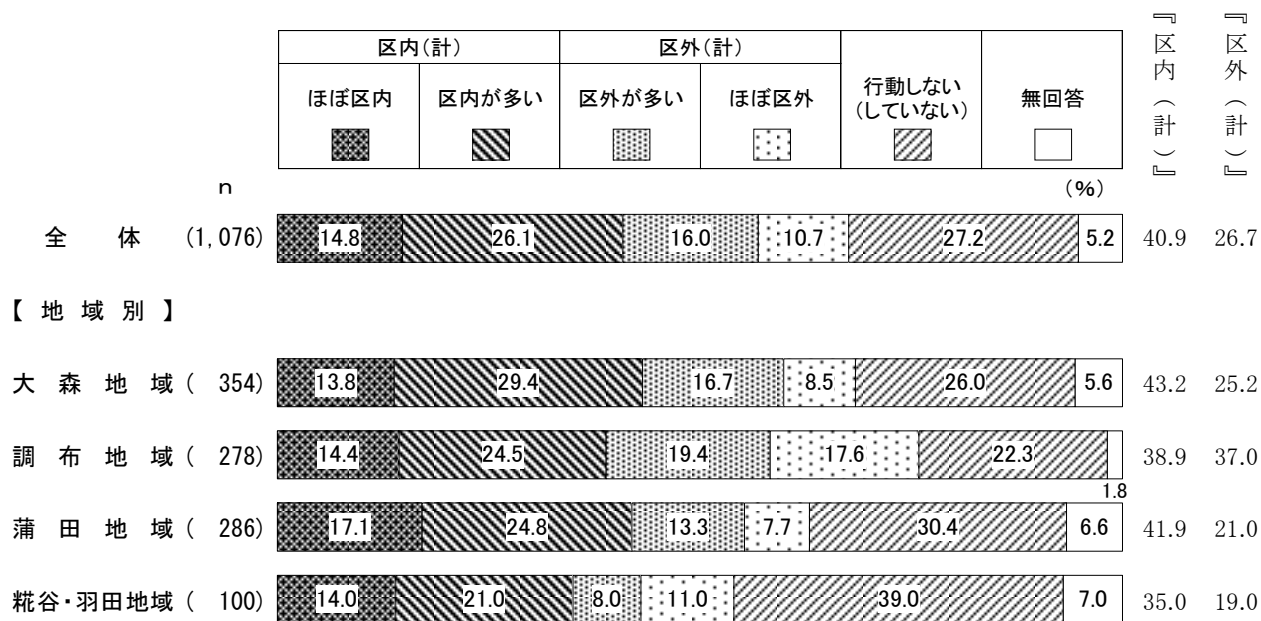


“スポーツを楽しむ”を性別でみると、『区内(計)』は男性(43.0%)が女性(40.0%)より3.0ポイント高く、『区外(計)』でも男性(29.0%)が女性(25.6%)より3.4ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『区内(計)』は男性30代(47.3%)と女性70歳以上(46.8%)で5割近くと高くなっている。一方、『区外(計)』は男性10・20代(44.5%)で4割半ばと高くなっている。

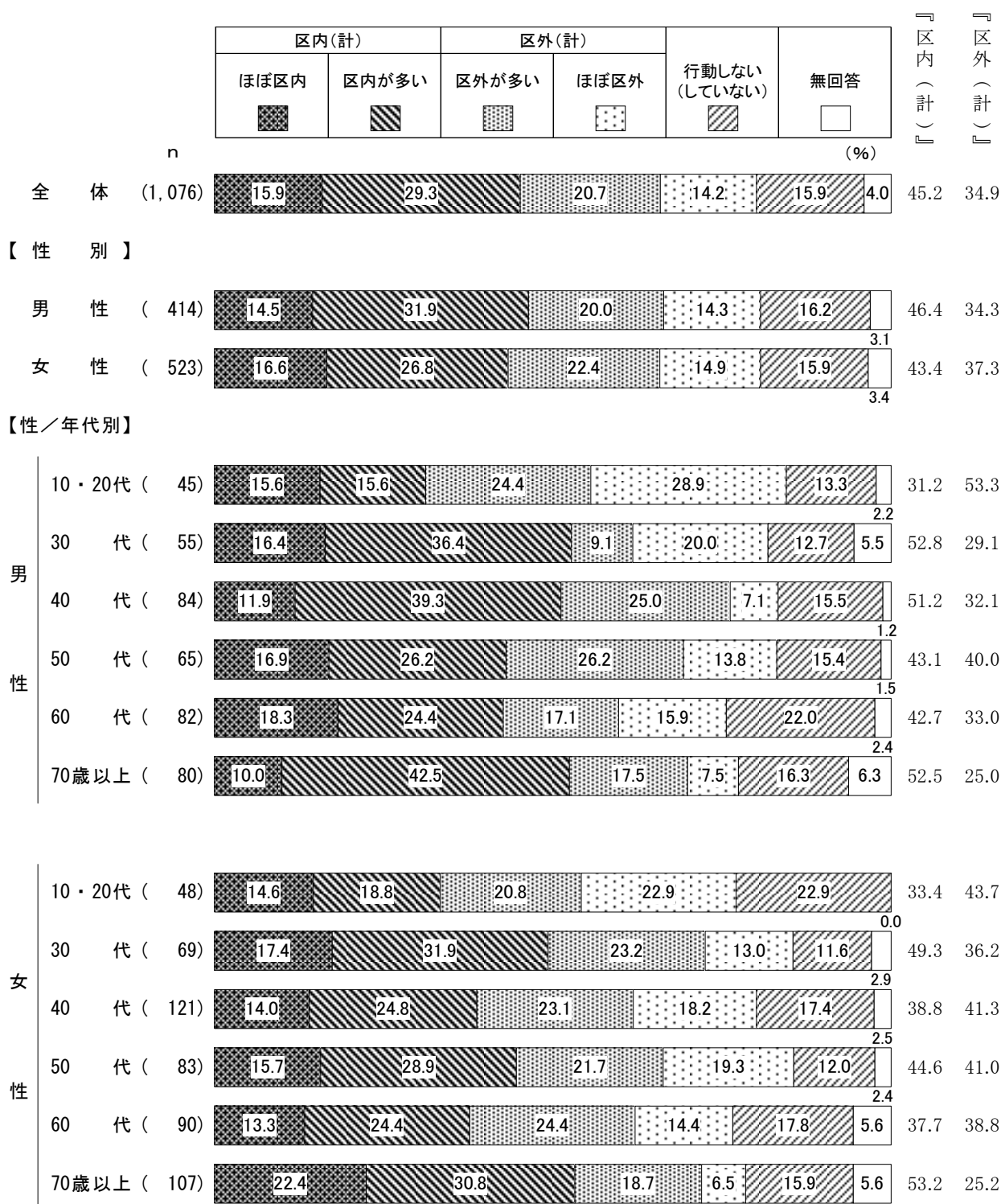
(図11-2-10)

図11-2-11 区内での過ごし方—地域別【(5) スポーツを楽しむ】



“スポーツを楽しむ”を地域別でみると、『区内(計)』は大森地域(43.2%)と蒲田地域(41.9%)で4割を超えて高くなっている。一方、『区外(計)』は調布地域(37.0%)で4割近くと高くなっている。(図11-2-11)

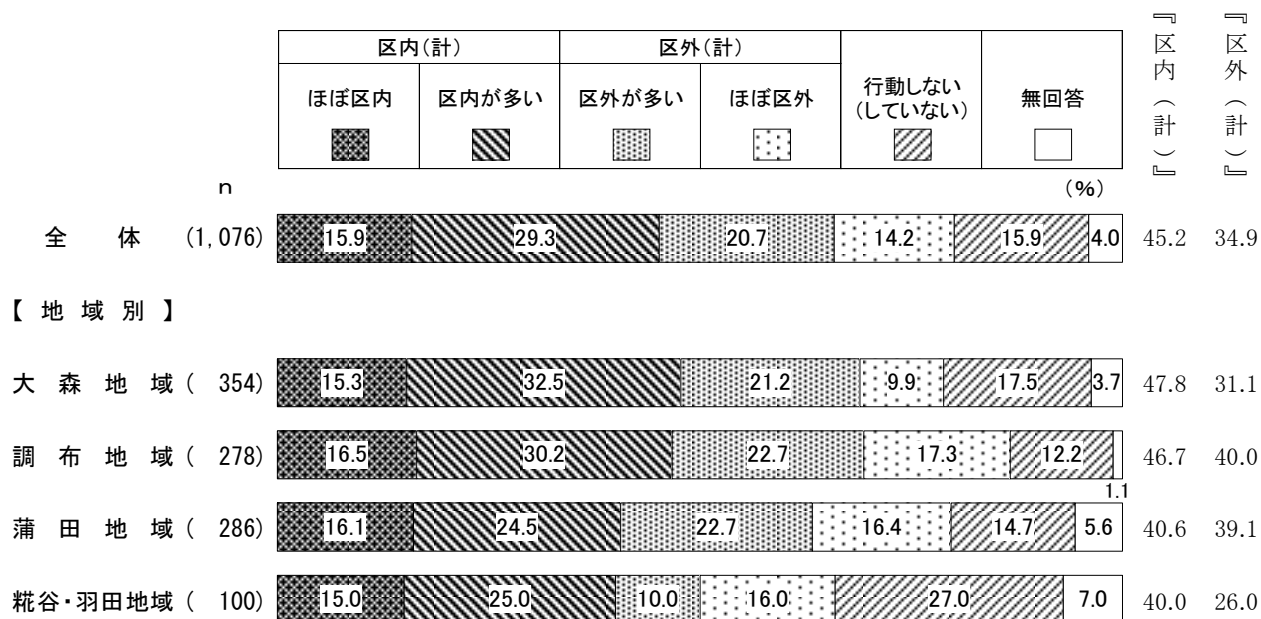
図11-2-12 区内での過ごし方—性／年代別【(6) まち歩きを楽しむ】



“まち歩きを楽しむ”を性別でみると、『区内(計)』は男性(46.4%)が女性(43.4%)より3.0ポイント高くなっている。一方、『区外(計)』は女性(37.3%)が男性(34.3%)より3.0ポイント高くなっている。

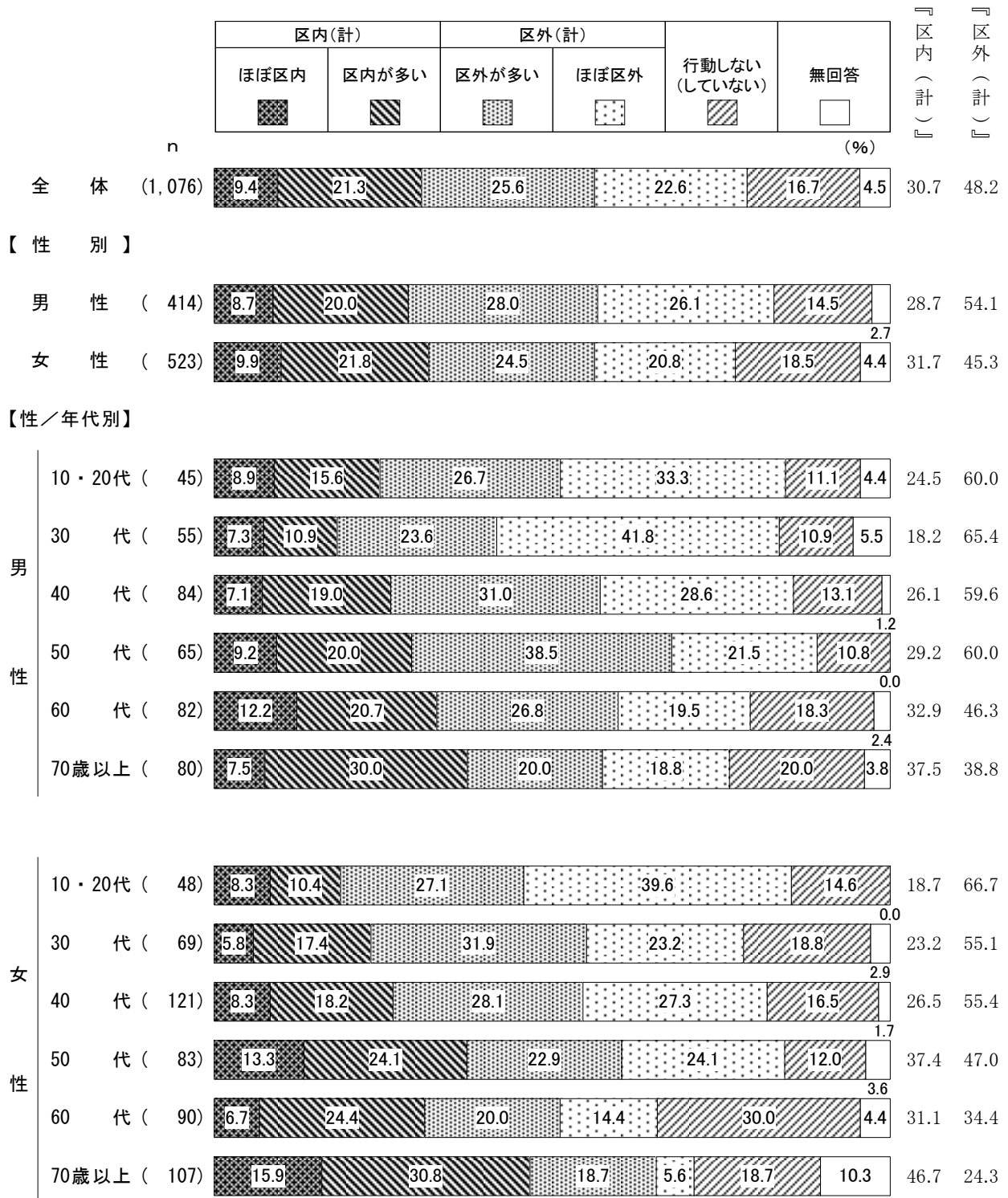
性／年代別でみると、『区内(計)』は女性70歳以上(53.2%)、男性の30代(52.8%)、40代(51.2%)、70歳以上(52.5%)で5割を超えて高くなっている。一方、『区外(計)』は男性10・20代(53.3%)で5割を超えて高くなっている。(図11-2-12)

図11-2-13 区内での過ごし方—地域別【(6) まち歩きを楽しむ】



“まち歩きを楽しむ”を地域別でみると、『区内(計)』は大森地域(47.8%)と調布地域(46.7%)で5割近くと高くなっている。一方、『区外(計)』は調布地域(40.0%)と蒲田地域(39.1%)で約4割と高くなっている。(図11-2-13)

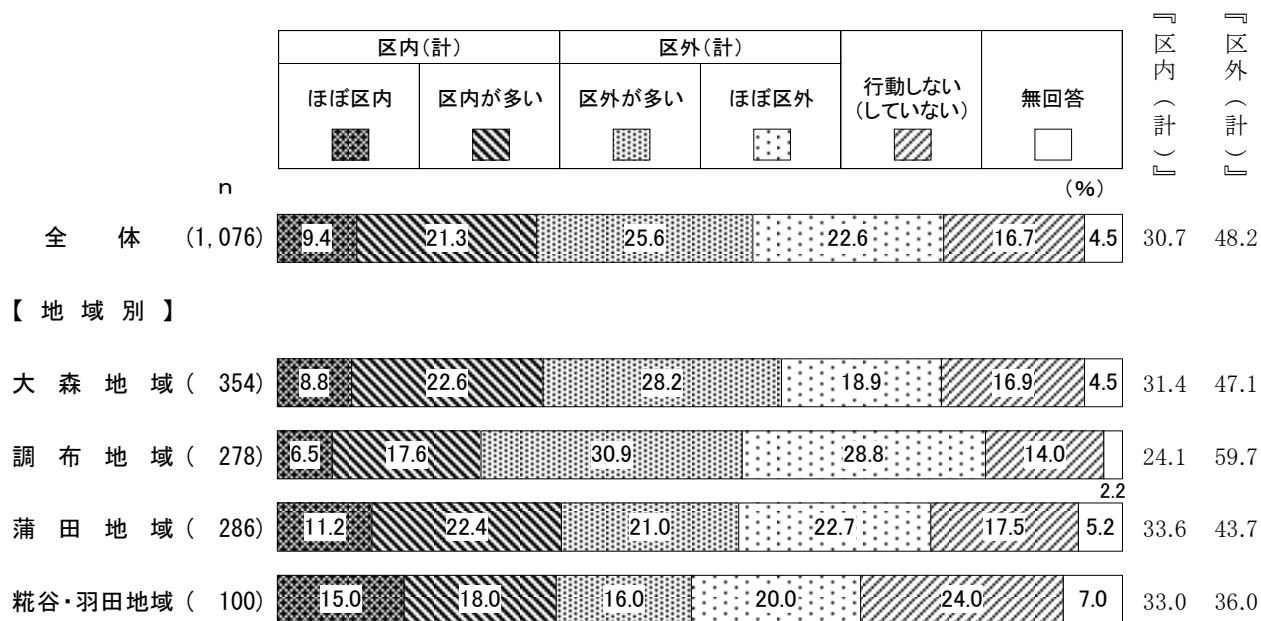
図11-2-14 区内での過ごし方—性／年代別【(7) その他趣味を楽しむ】



“その他趣味を楽しむ”を性別でみると、『区内(計)』は女性(31.7%)が男性(28.7%)より3.0ポイント高くなっている。一方、『区外(計)』は男性(54.1%)が女性(45.3%)より8.8ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『区内(計)』は女性70歳以上(46.7%)で5割近くと高くなっている。一方、『区外(計)』は女性10・20代(66.7%)で7割近くと高くなっている。(図11-2-14)

図11-2-15 区内での過ごし方—地域別【(7) その他趣味を楽しむ】



“その他趣味を楽しむ”を地域別でみると、『区外(計)』は調布地域(59.7%)で6割と高くなっている。(図11-2-15)

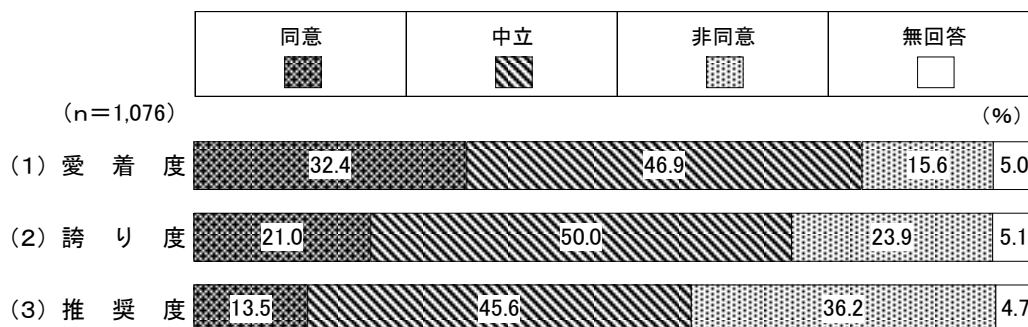
(3) 観光の視点からみた大田区への愛着、誇り、他者への推奨

◇「同意」は“愛着度”で3割を超え、“誇り度”で2割を超え、“推奨度”で1割を超える

問19 観光の視点から、大田区への愛着や誇り、他者への推奨について、完全に同意する方は10点、全く同意できない方は0点として、0～10点の間で示してください。

(○はそれぞれ1つ)

図11-3-1



※“愛着度”は、調査票では「愛着を感じますか」となっている。

※“誇り度”は、調査票では「誇りを感じますか」となっている。

※“推奨度”は、調査票では「大田区に買い物や遊び、観光などで訪問することを、区外の友人・知人に薦めたいと思いますか」となっている。

観光の視点から、大田区への愛着、誇り、他者への推奨について、完全に同意できれば10点、全く同意できないならば0点として、0～10点の間で示してもらい、8～10点を「同意」、5～7点を「中立」、0～4点を「非同意」として集計した。

“愛着度”では、「同意」(32.4%)が3割を超え、「中立」(46.9%)は5割近く、「非同意」(15.6%)は1割半ばとなっている。

“誇り度”では、「同意」(21.0%)が2割を超え、「中立」(50.0%)は5割、「非同意」(23.9%)は2割を超えている。

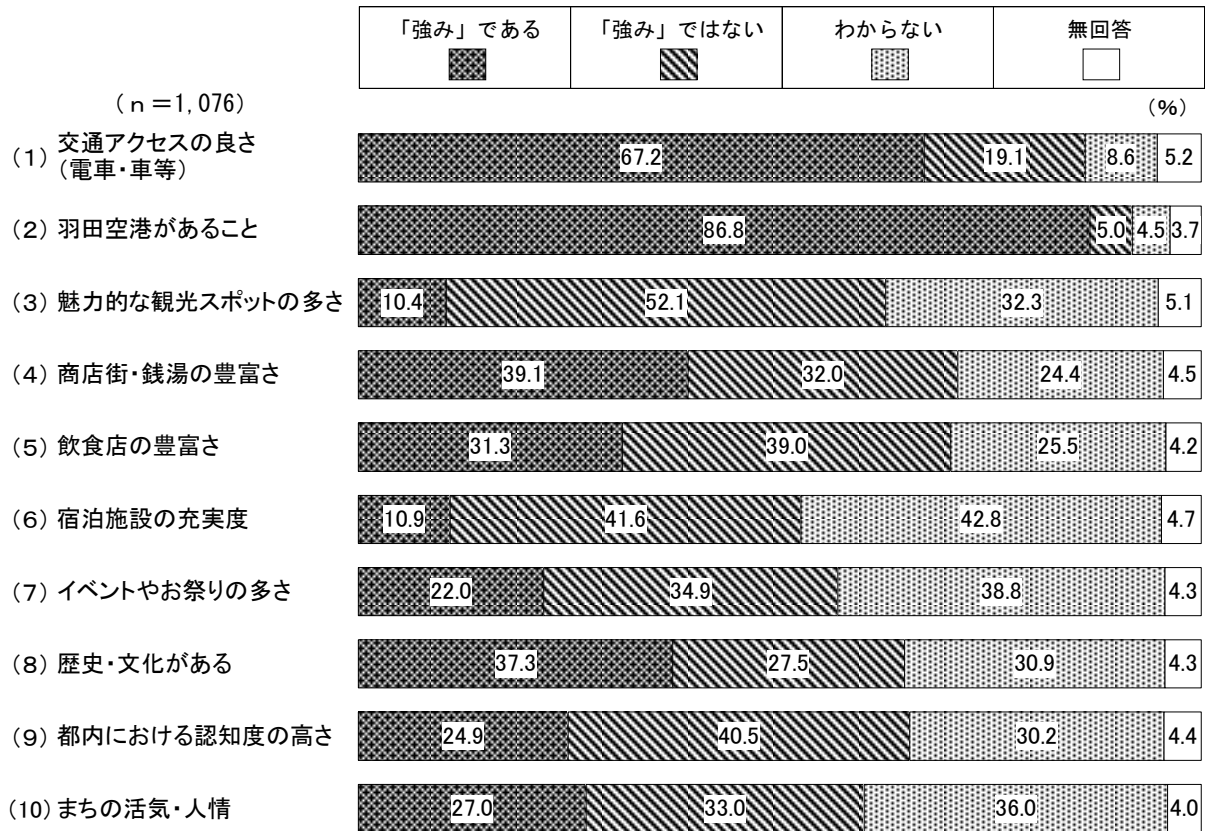
“推奨度”では、「同意」(13.5%)が1割を超え、「中立」(45.6%)は4割半ば、「非同意」(36.2%)は3割半ばとなっている。(図11-3-1)

(4) 観光の視点からみた大田区の強み

◇「強み」は“羽田空港があること”で9割近く

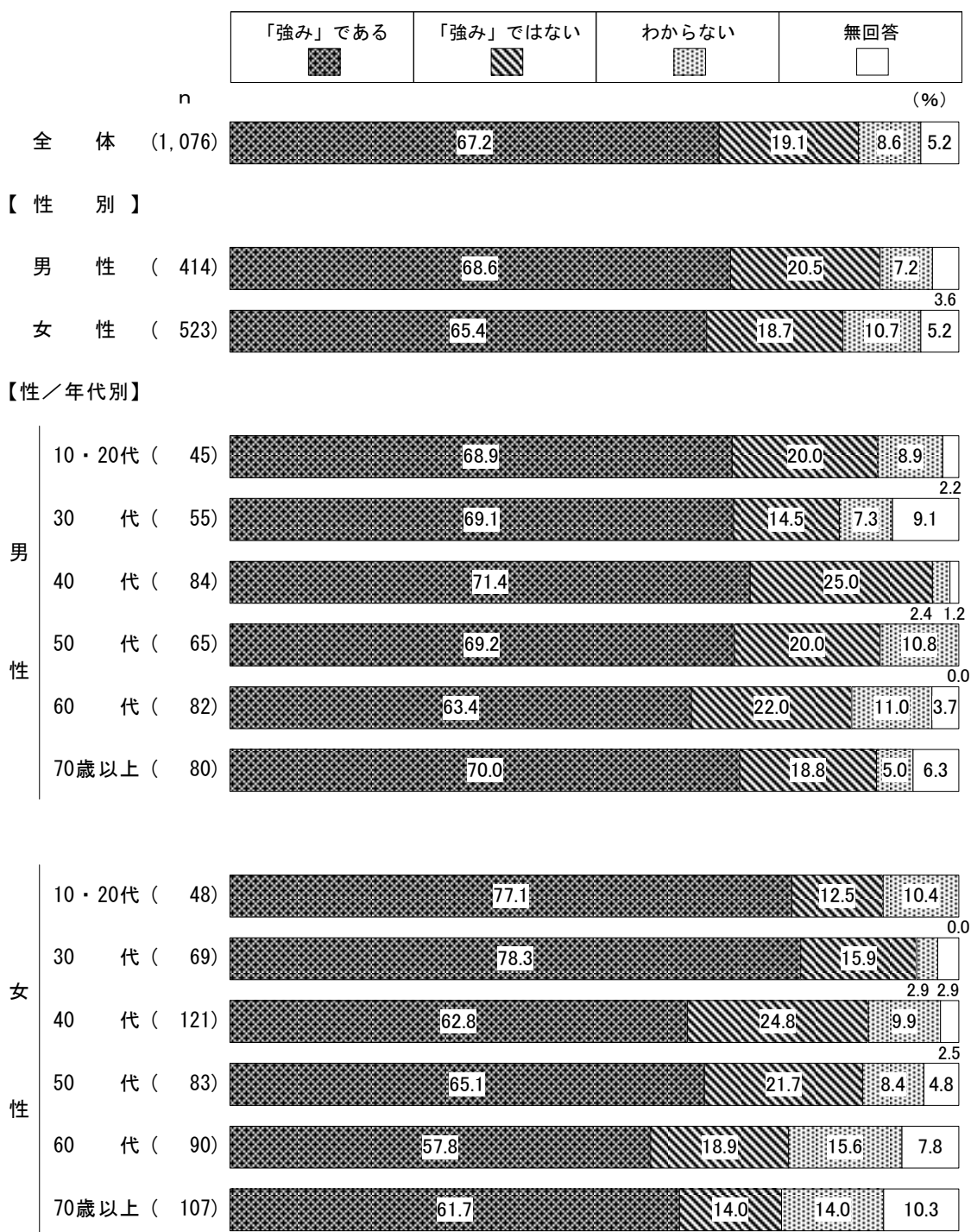
問20 次の(1)から(10)の項目は、観光の視点から東京の他区と比較して大田区の「強み」であると思いますか。(〇はそれぞれ1つ)

図11-4-1



観光の視点から東京の他区と比較して大田区の強みについて聞いたところ、「『強み』である」は“羽田空港があること”(86.8%)で9割近く、“交通アクセスの良さ(電車・車等)”(67.2%)で7割近くと高くなっている。一方、「『強み』ではない」は“魅力的な観光スポットの多さ”(52.1%)で5割を超え、“宿泊施設の充実度”(41.6%)で4割を超えて高くなっている。(図11-4-1)

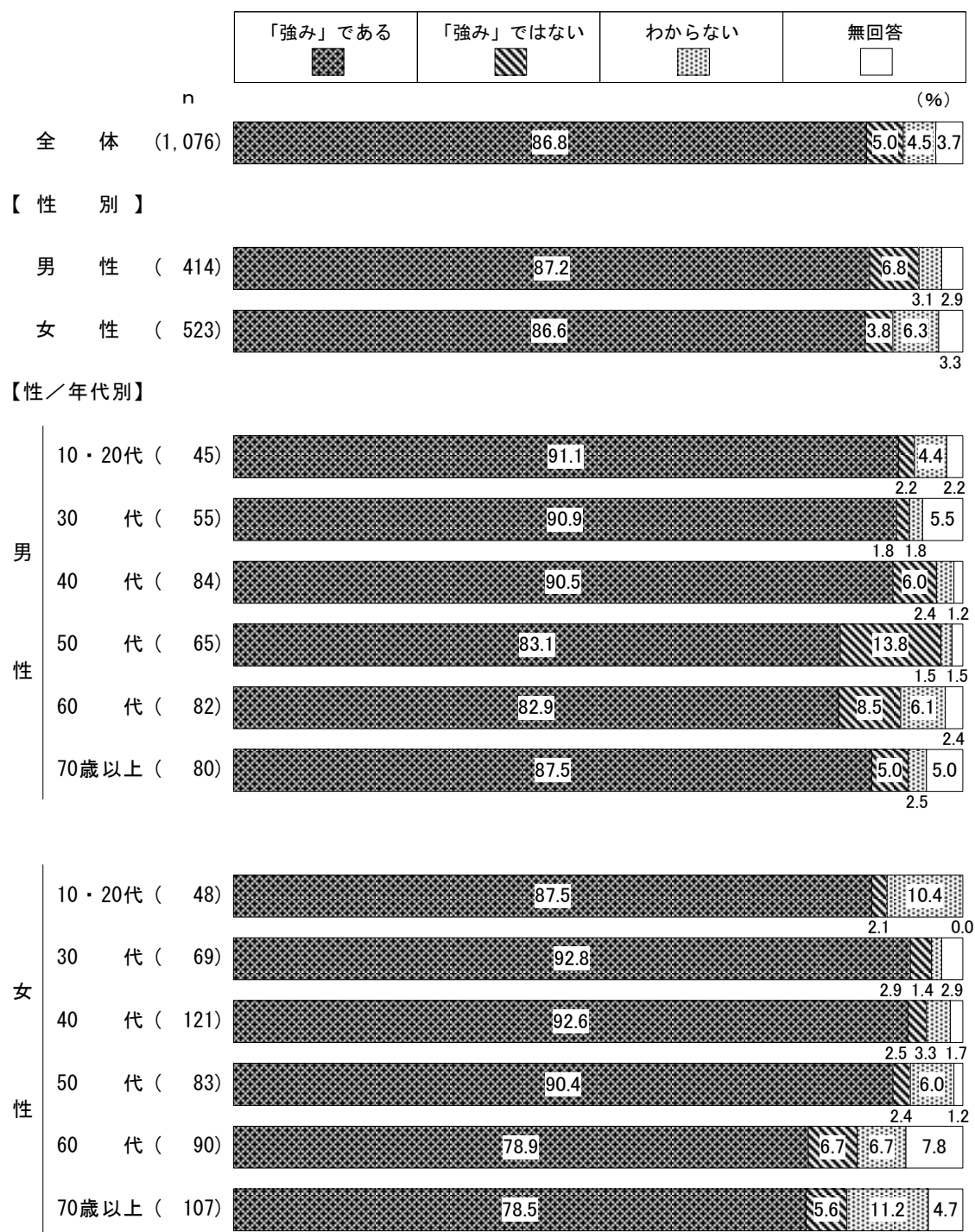
図11-4-2 観光の視点からみた大田区の強み一性／年代別【(1)交通アクセスの良さ(電車・車等)】



“交通アクセスの良さ（電車・車等）”を性別で見ると、「『強み』である」は男性（68.6%）が女性（65.4%）より3.2ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「『強み』である」は女性の10・20代（77.1%）と30代（78.3%）で8割近くと高くなっている。一方、「『強み』ではない」は男性40代（25.0%）と女性40代（24.8%）で2割半ばと高くなっている。（図11-4-2）

図11-4-3 観光の視点からみた大田区の強み一性／年代別【(2) 羽田空港があること】

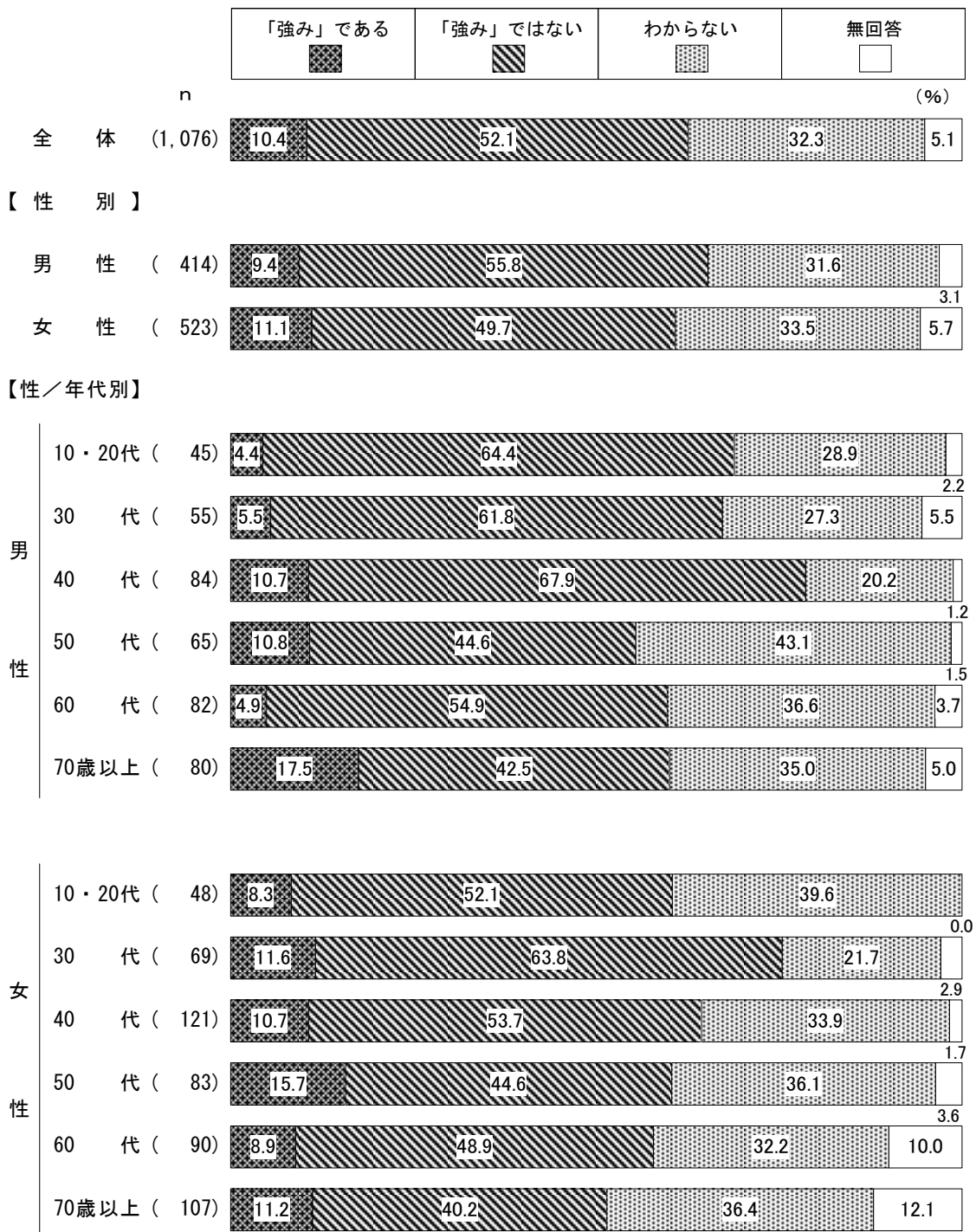


“羽田空港があること”を性別で見ると、『強み』ではないは男性(6.8%)が女性(3.8%)より3.0ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『強み』であるは男性の10・20代(91.1%)、30代(90.9%)、40代(90.5%)と女性の30代(92.8%)、40代(92.6%)、50代(90.4%)で9割台と高くなっている。

(図11-4-3)

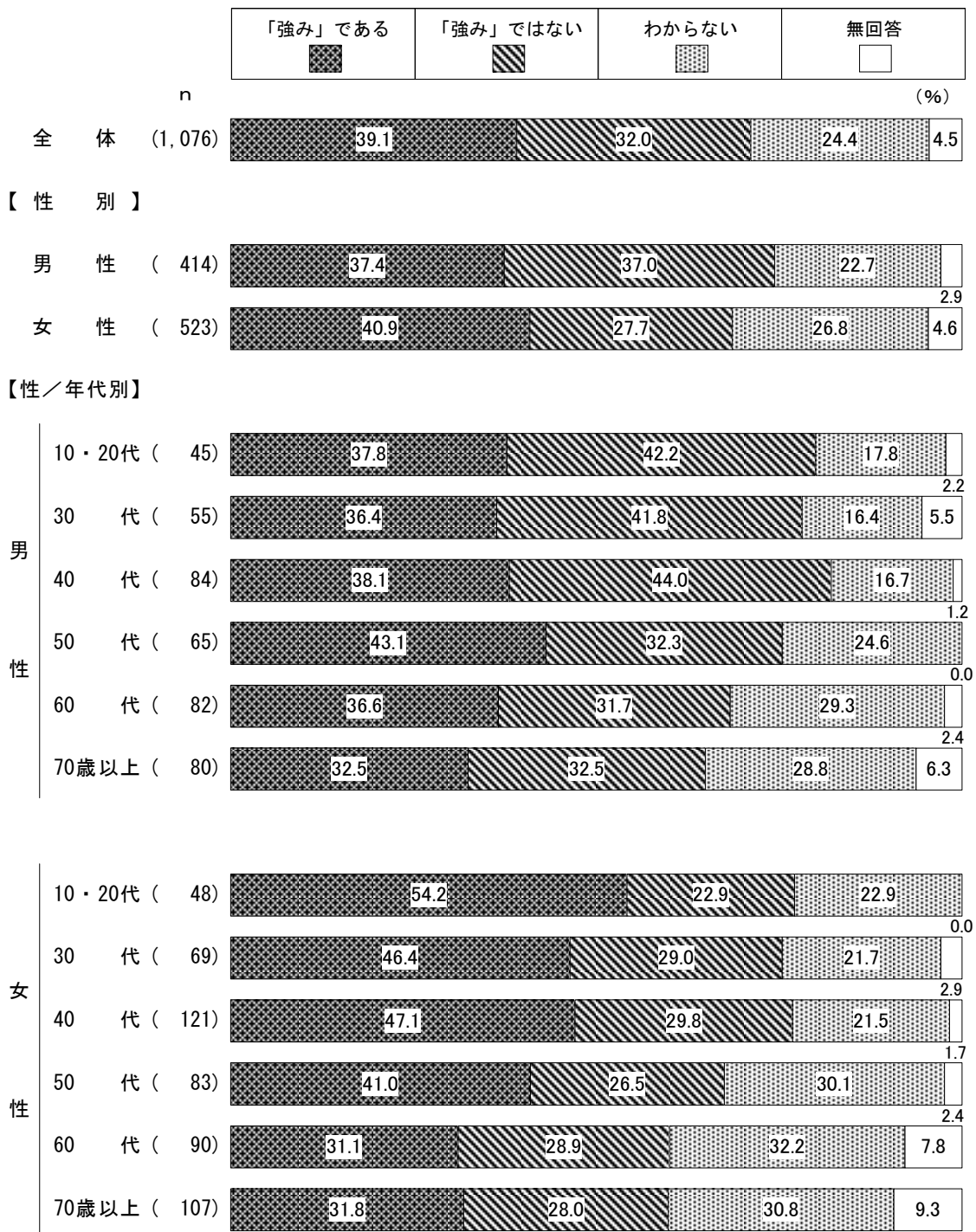
図11-4-4 観光の視点からみた大田区の強み一性／年代別【(3) 魅力的な観光スポットの多さ】



“魅力的な観光スポットの多さ”を性別で見ると、「『強み』ではない」は男性（55.8%）が女性（49.7%）より6.1ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「『強み』である」は男性70歳以上（17.5%）で2割近くとなっている。一方、「『強み』ではない」は男性40代（67.9%）で7割近くと高くなっている。（図11-4-4）

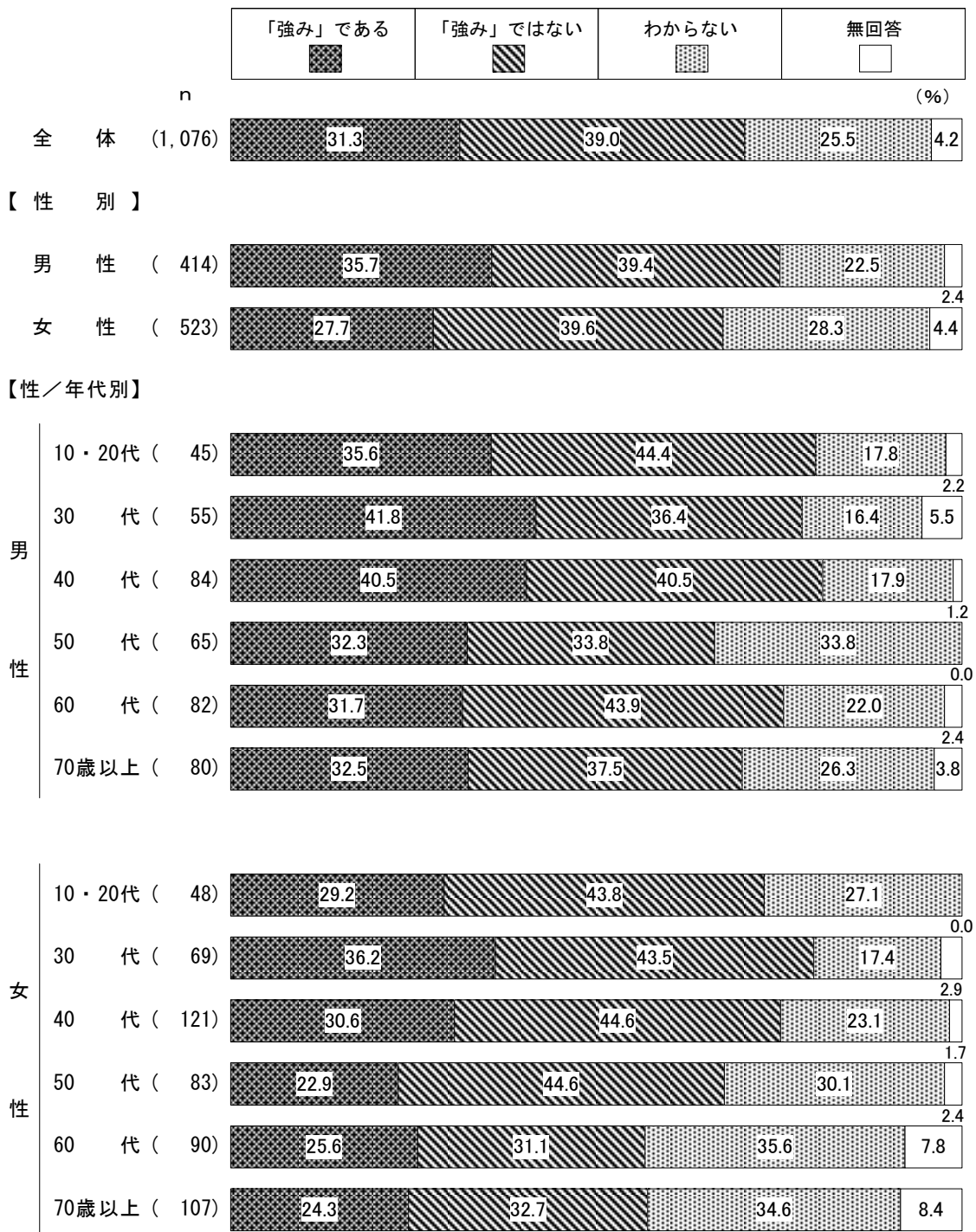
図11-4-5 観光の視点からみた大田区の強み一性／年代別【(4) 商店街・銭湯の豊富さ】



“商店街・銭湯の豊富さ”を性別で見ると、「『強み』である」は女性（40.9%）が男性（37.4%）より3.5ポイント高くなっている。一方、「『強み』ではない」は男性（37.0%）が女性（27.7%）より9.3ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「『強み』である」は女性10・20代（54.2%）で5割半ばと高くなっている。一方、「『強み』ではない」は男性の10・20代（42.2%）、30代（41.8%）、40代（44.0%）で4割台と高くなっている。（図11-4-5）

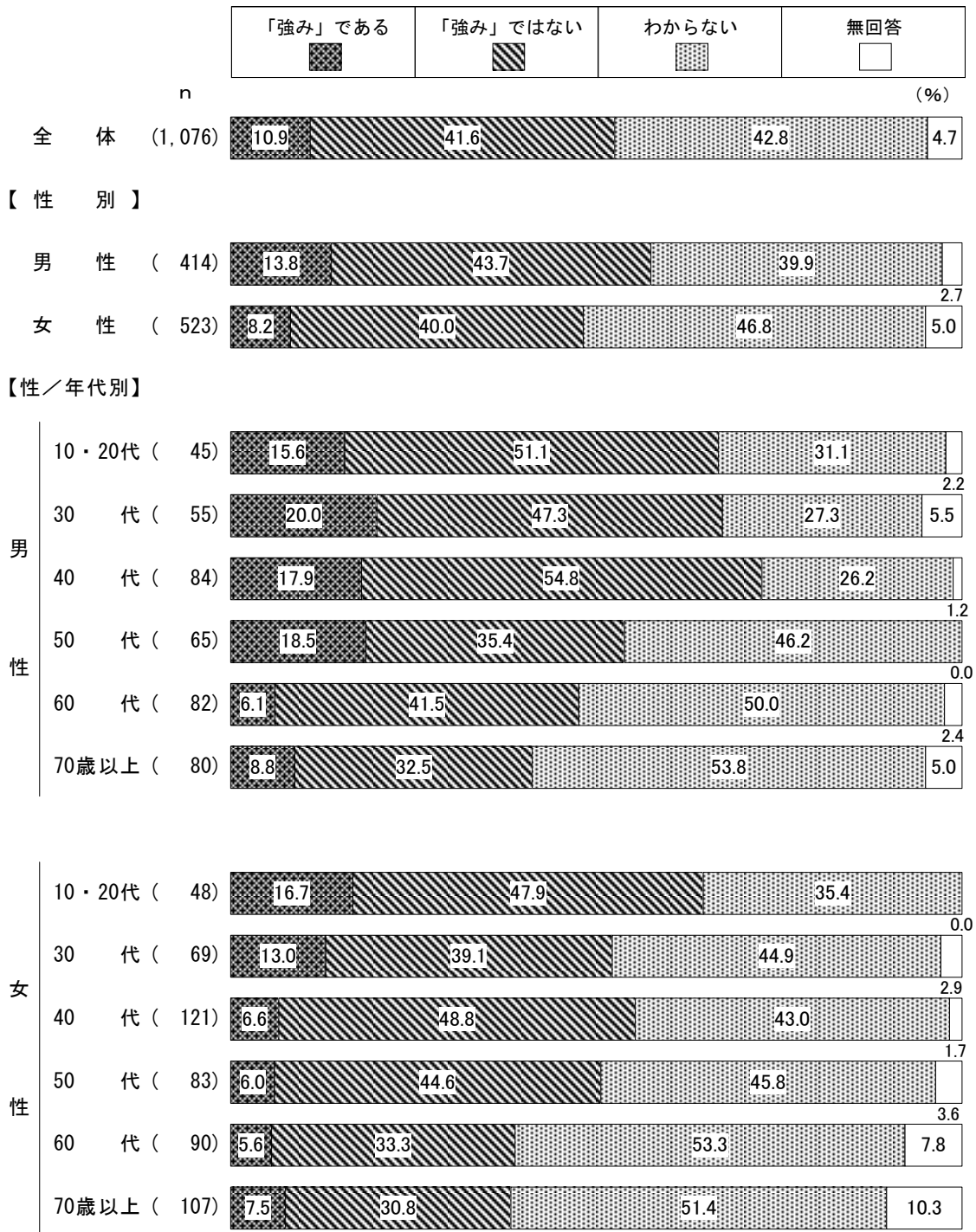
図11-4-6 観光の視点からみた大田区の強み一性／年代別【(5) 飲食店の豊富さ】



“飲食店の豊富さ”を性別で見ると、「『強み』である」は男性（35.7%）が女性（27.7%）より8.0ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「『強み』である」は男性の30代（41.8%）と40代（40.5%）で4割台と高くなっている。一方、「『強み』ではない」は女性の40代と50代（ともに44.6%）、男性10・20代（44.4%）で4割半ばと高くなっている。（図11-4-6）

図11-4-7 観光の視点からみた大田区の強み一性／年代別【(6) 宿泊施設の充実度】

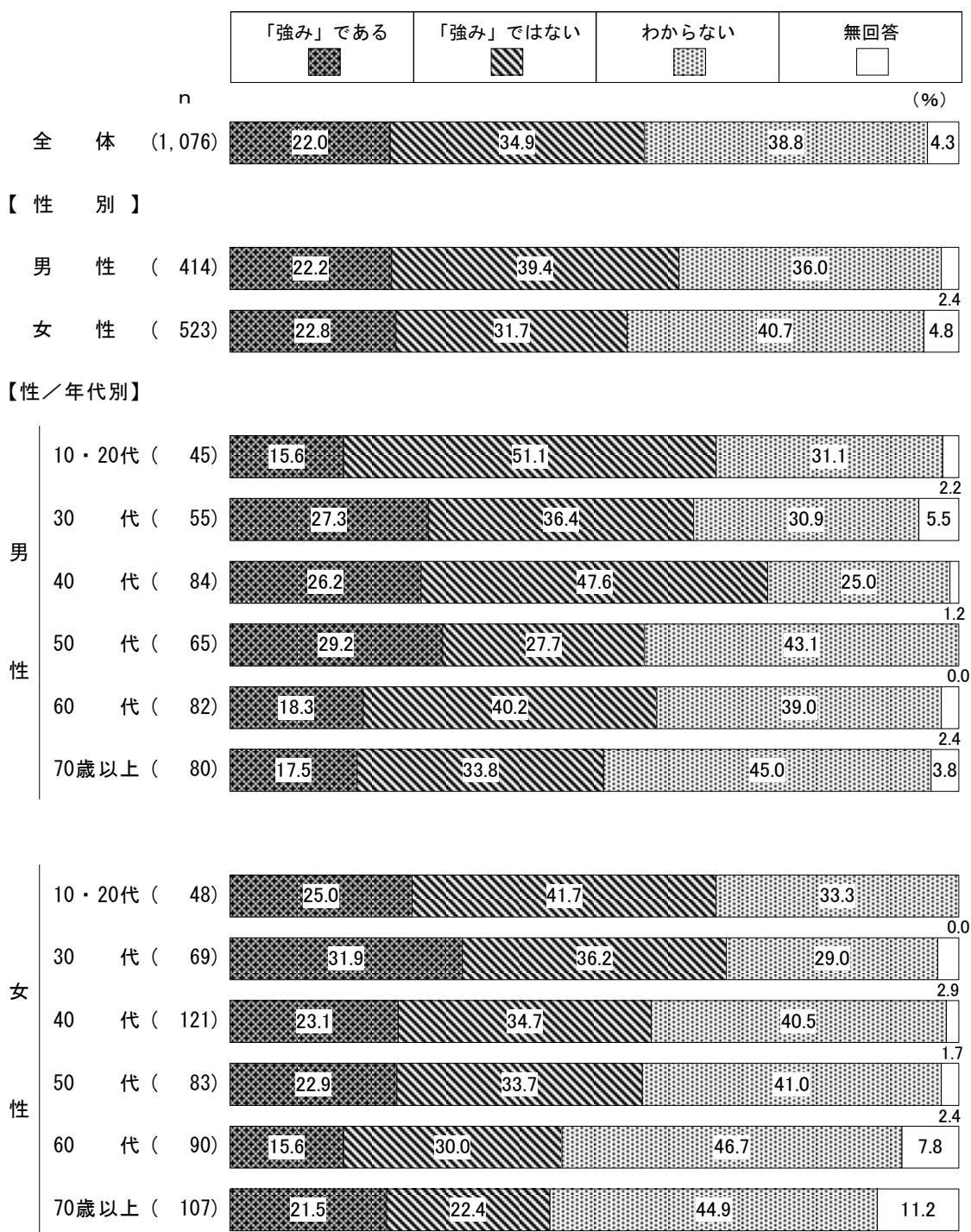


“宿泊施設の充実度”を性別で見ると、「『強み』である」は男性（13.8%）が女性（8.2%）より5.6ポイント高く、「『強み』ではない」でも男性（43.7%）が女性（40.0%）より3.7ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「『強み』である」は男性30代（20.0%）で2割と高くなっている。一方、「『強み』ではない」は男性の10・20代（51.1%）と40代（54.8%）で5割台と高くなっている。

(図11-4-7)

図11-4-8 観光の視点からみた大田区の強み一性／年代別【(7) イベントやお祭りの多さ】

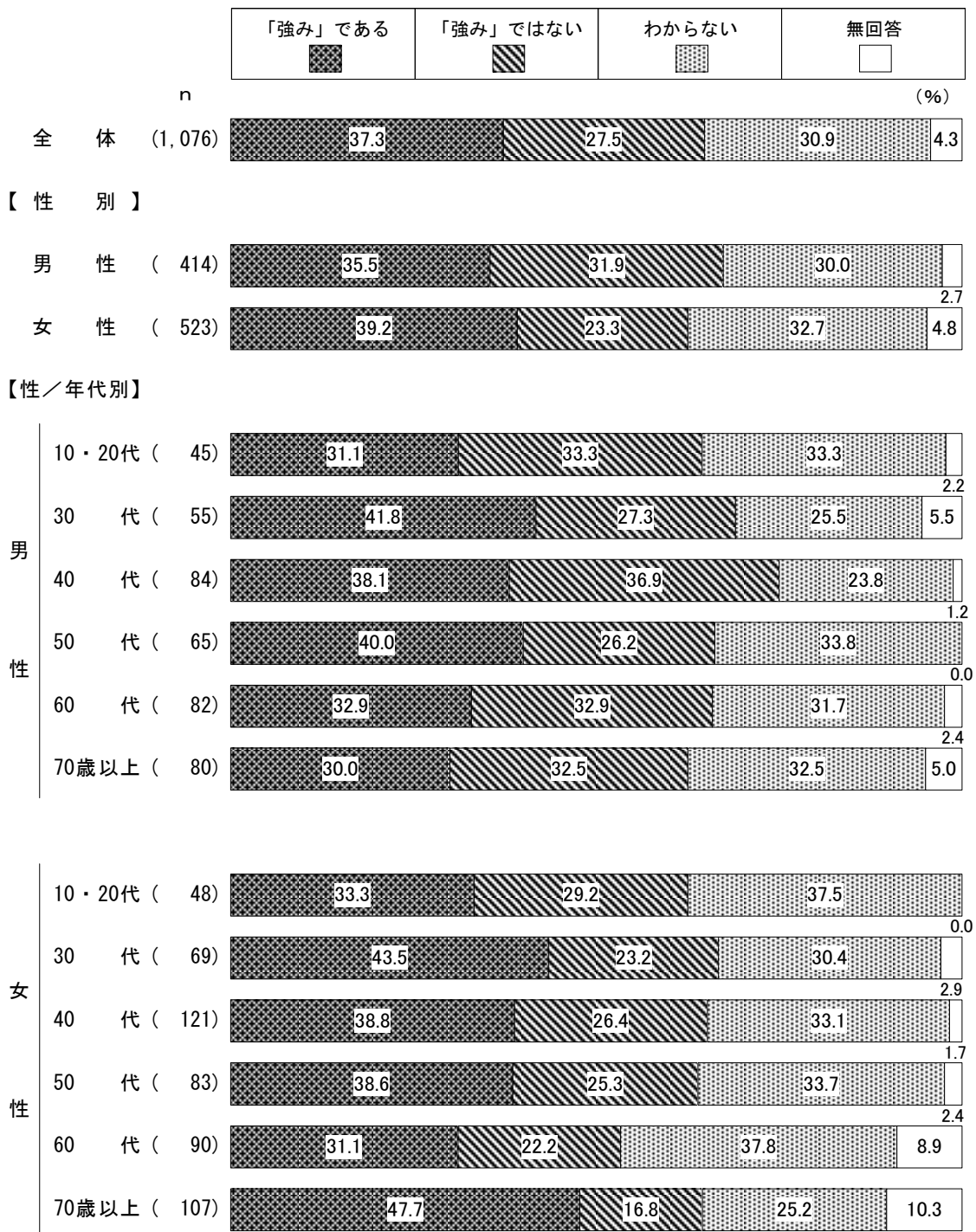


“イベントやお祭りの多さ”を性別で見ると、「『強み』ではない」は男性(39.4%)が女性(31.7%)より7.7ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「『強み』である」は女性30代(31.9%)で3割を超えて高くなっている。一方、「『強み』ではない」は男性10・20代(51.1%)で5割を超えて高くなっている。

(図11-4-8)

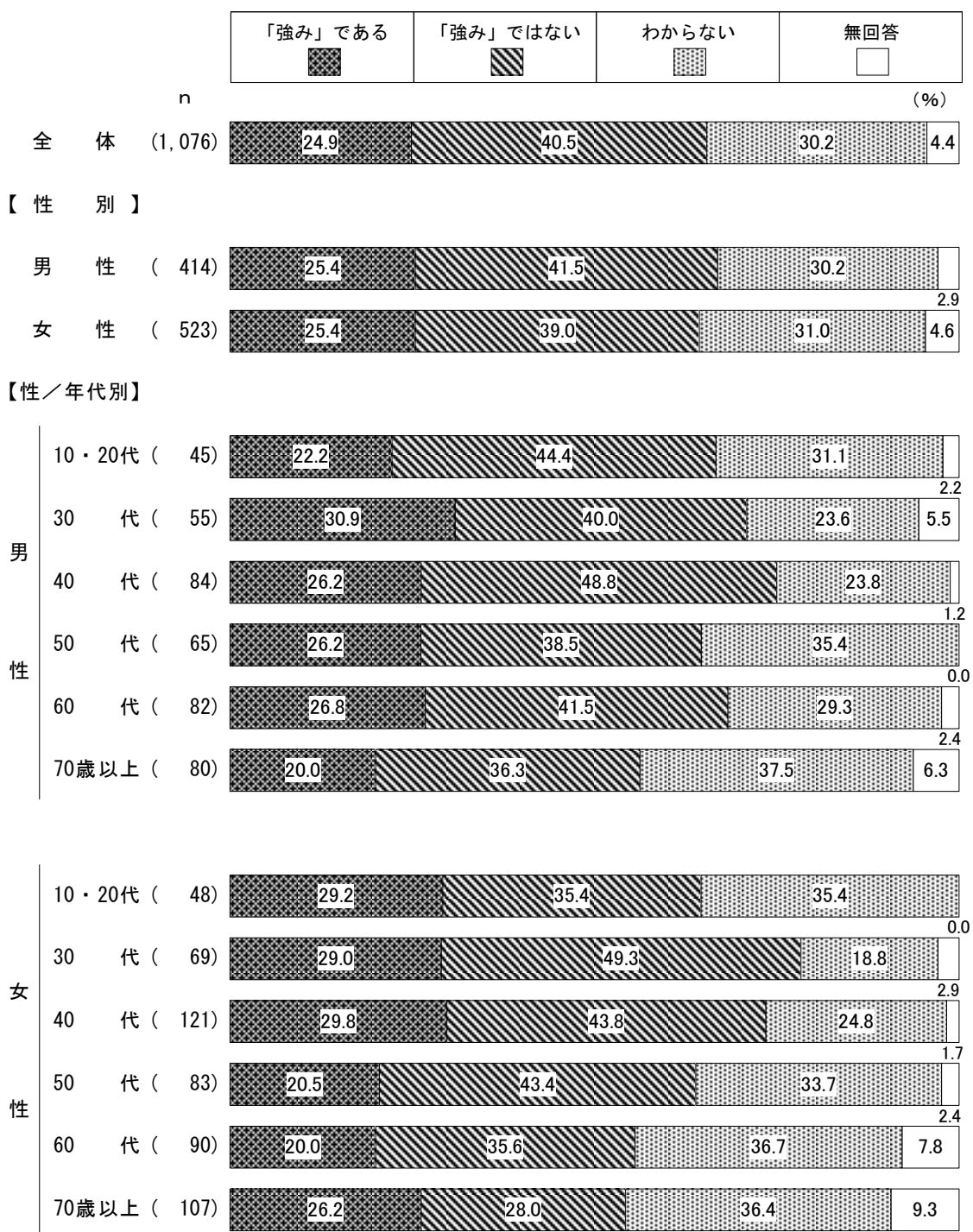
図11-4-9 観光の視点からみた大田区の強み一性／年代別【(8) 歴史・文化がある】



“歴史・文化がある”を性別で見ると、『強み』であるは女性(39.2%)が男性(35.5%)より3.7ポイント高くなっている。一方、『強み』ではないは男性(31.9%)が女性(23.3%)より8.6ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『強み』であるは女性70歳以上(47.7%)で5割近くと高くなっている。一方、『強み』ではないは男性40代(36.9%)で4割近くと高くなっている。(図11-4-9)

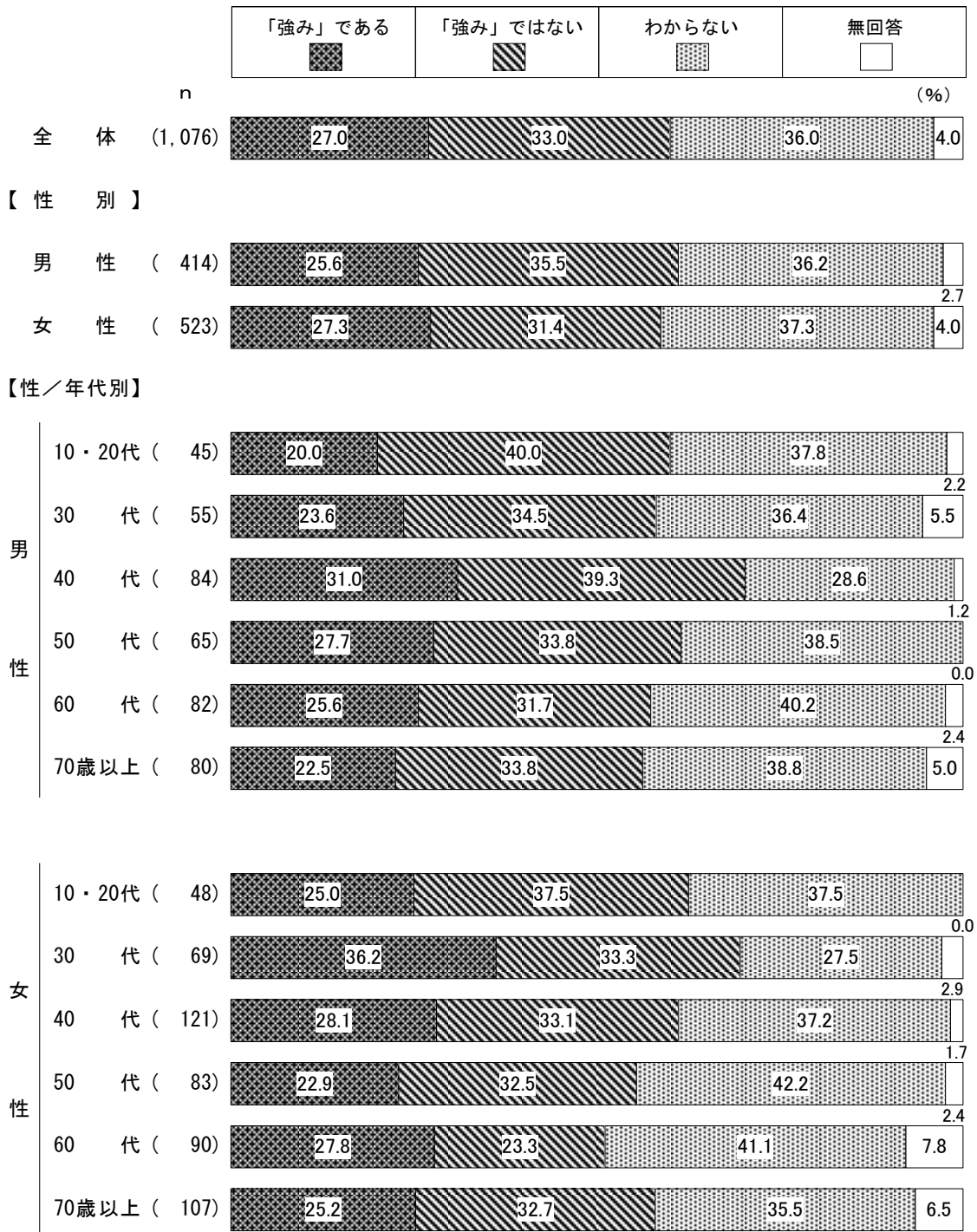
図11-4-10 観光の視点からみた大田区の強み一性／年代別【(9) 都内における認知度の高さ】



“都内における認知度の高さ”を性別で見ると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年代別で見ると、『強み』であるは男性30代(30.9%)と女性の10・20代(29.2%)、30代(29.0%)、40代(29.8%)で約3割と高くなっている。一方、『強み』ではないは女性30代(49.3%)で約5割と高くなっている。(図11-4-10)

図11-4-11 観光の視点からみた大田区の強み一性／年代別【(10) まちの活気・人情】

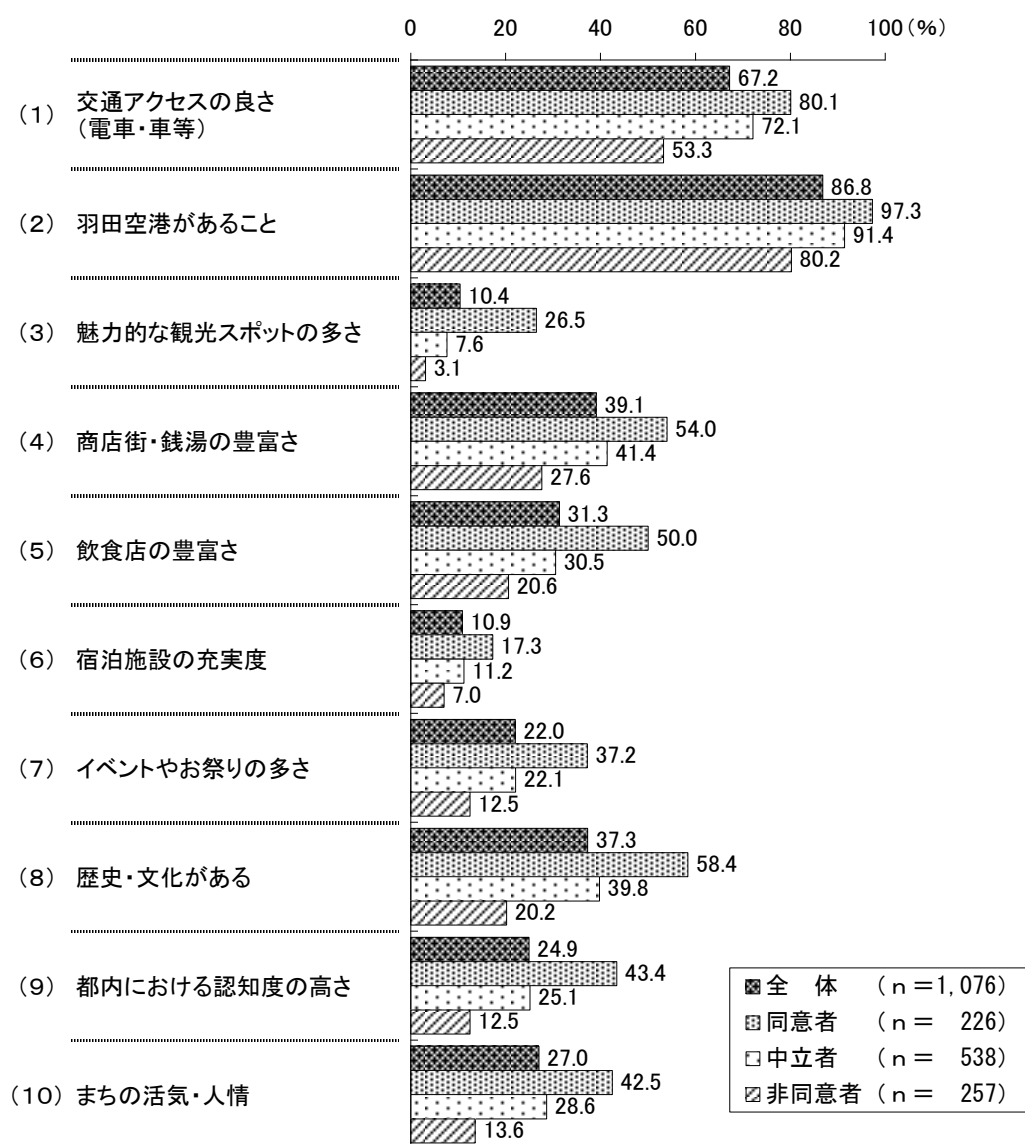


“まちの活気・人情”を性別で見ると、「『強み』ではない」は男性（35.5%）が女性（31.4%）より4.1ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「『強み』である」は女性30代（36.2%）で3割半ばと高くなっている。一方、「『強み』ではない」は男性の10・20代（40.0%）と40代（39.3%）で約4割と高くなっている。

(図11-4-11)

図11-4-12 観光の視点からみた大田区の強み（『強み』である）－“誇り度”別



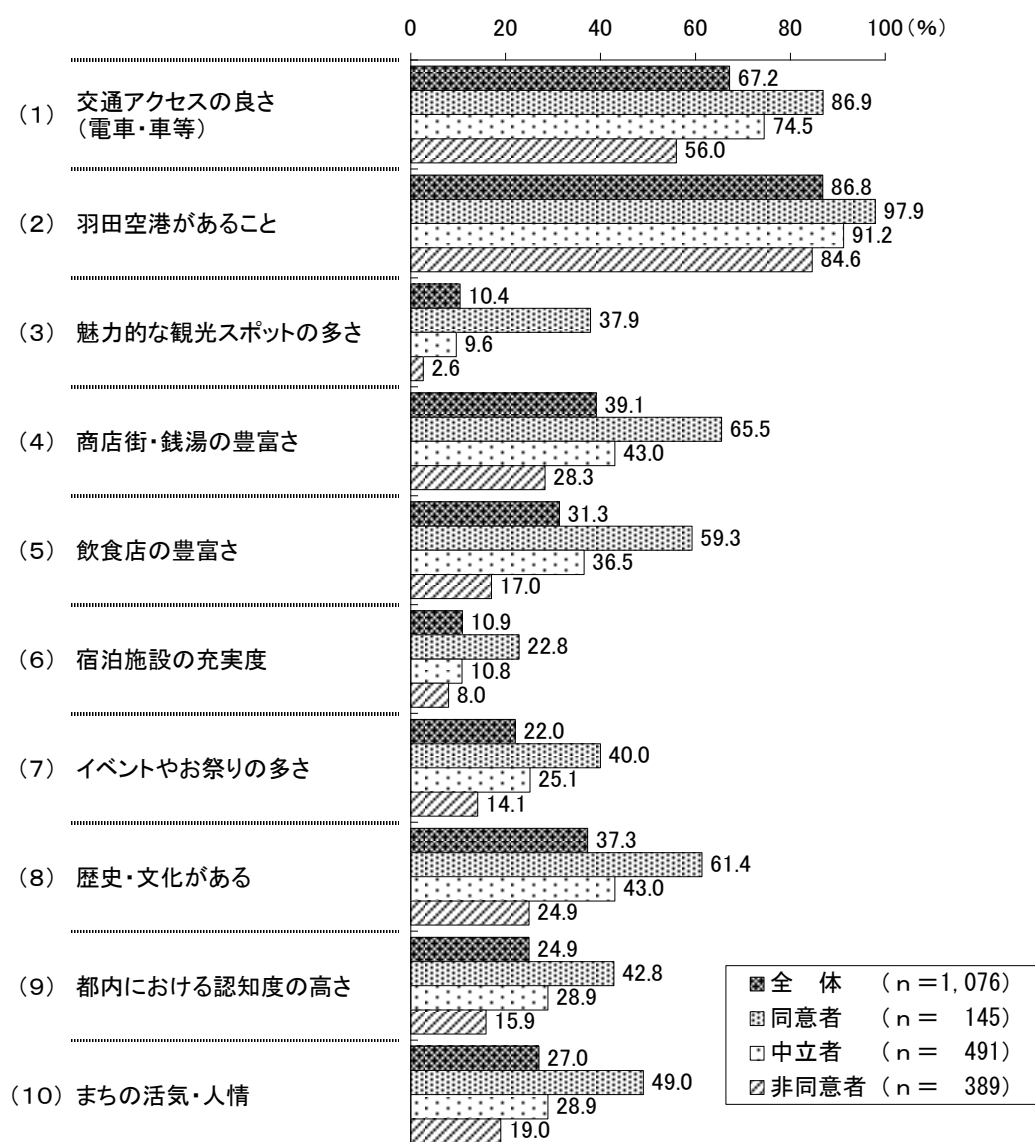
大田区の「強み」を“誇り度”別（P114）でみると、全ての項目で同意者、中立者、非同意者の順で割合が高くなっている。

同意者では、「羽田空港があること」（97.3%）が10割近くで最も高く、次いで「交通アクセスの良さ」（80.1%）、「歴史・文化がある」（58.4%）、「商店街・銭湯の豊富さ」（54.0%）などの順になっている。

中立者では、「羽田空港があること」（91.4%）が9割を超えて最も高く、次いで「交通アクセスの良さ」（72.1%）、「商店街・銭湯の豊富さ」（41.4%）、「歴史・文化がある」（39.8%）などの順になっている。

非同意者では、「羽田空港があること」（80.2%）が8割で最も高く、次いで「交通アクセスの良さ」（53.3%）、「商店街・銭湯の豊富さ」（27.6%）、「飲食店の豊富さ」（20.6%）などの順になっている。（図11-4-12）

図11-4-13 観光の視点からみた大田区の強み（『強み』である）－“推奨度”別



大田区の「強み」を“推奨度”別（P114）でみると、全ての項目で同意者、中立者、非同意者の順で割合が高くなっている。

同意者では、「羽田空港があること」（97.9%）が10割近くで最も高く、次いで「交通アクセスの良さ」（86.9%）、「商店街・銭湯の豊富さ」（65.5%）、「歴史・文化がある」（61.4%）などの順になっている。

中立者では、「羽田空港があること」（91.2%）が9割を超えて最も高く、次いで「交通アクセスの良さ」（74.5%）、「商店街・銭湯の豊富さ」と「歴史・文化がある」（ともに43.0%）などの順になっている。

非同意者では、「羽田空港があること」（84.6%）が8割半ばで最も高く、次いで「交通アクセスの良さ」（56.0%）、「商店街・銭湯の豊富さ」（28.3%）、「歴史・文化がある」（24.9%）などの順になっている。（図11-4-13）